契 約 説 明 書

入札順　　2／5　　午後

工事名	橋梁修繕工事（御旅橋ほか）
工事場所	豊田郡大崎上島町明石
入札（予定）年月日	令和7年7月8日（火） 13時30分
入札場所	大崎上島町役場本庁入札室
予定工期	着手　契約締結の日の翌日 完成　令和7年12月26日
特約事項	前金払　：有　（4/10以内） 中間前金払　：有　（2/10以内） 部分払　：有　（9/10以内、支払限度回数1回）
最低制限価格	有
契約保証金	要
その他	・大崎上島町財務規則、建設工事執行規則及び建設業法等関係法令の定めるところによる。

入　札　条　件

1　入札保証金

大崎上島町財務規則第９８条第２項の規定により、免除する。

2　契約保証金

⑴　請負人は、契約の締結と同時に次のいずれかに掲げる保証を付さなければならない。ただし、（オ）の場合においては、履行保証保険締結後、直ちにその保険証券を町長に寄託しなければならない。

（ア）　契約保証金の納付

（イ）　契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供

（ウ）　契約による債務の不履行により生じる損害金の支払いを保証する銀行、町長が確実と認める金融機関又は保証事業会社（公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和２７年法律第１８４号）第２条第４項に規定する保証事業会社をいう。以下同じ。）の保証

（エ）　契約による債務の履行を保証する公共工事履行保証証券による保証

（オ）　契約による債務の不履行により生じる損害をてん補する履行保証保険契約の締結

⑵　契約の保証に係る契約保証金の額、保証金額又は保険金額及び保証の額は、請負代金額の１０分の１とする。

⑶　契約保証金及び契約保証金の納付に代えて提供された担保は、契約履行完了後に還付する。なお、契約保証金については、工事又は給付の完了の確認又は検査が終了したのち、契約の相手方から入札(契約)保証金還付請求書の提出を受けてこれと引換えに還付するものとする。

⑷　契約保証金には、利子は付さない。

3　入札執行上の注意事項

⑴　入札執行中は、入札執行者が特に必要と認めた場合を除き、入札室の出入りを禁止する。

⑵　入札執行中は、入札者の私語、放言等は禁止する。

⑶　入札室には入札に必要な者以外は入室してはならない。ただし、入札執行者が特に必要と認めた場合又は共同企業体を結成している場合は２名まで入室を可とする。

⑷　入札書の記載事項について訂正し、挿入し、又は削除したときは、その箇所に印を押さなければならない。

⑸　提出された入札書及び工事費内訳書の書換え、引替え、又は撤回は、認めない。

⑹　落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の１００分の１０に相当する額を加算した金額（当該金額に１円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた額）をもって落札価格とし、入札者は消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるか問わず、見積もった契約希望金額の１１０分の１００に相当する金額を入札書に記載すること。

4　代理入札

入札者の代理人として入札しようとする者は、あらかじめ委任状を提出して代理人として確認を受けなければならない。

5　工事費内訳書について

⑴　この工事は、入札参加者から入札時に工事費内訳書の提出を求める工事である。入札の際

に、工事費内訳書の提出がない場合、入札に参加することができない。

工事費内訳書の提出方法等については、書面により工事費内訳書を作成し、次の事項を記載し、入札書を提出する際に提出すること。

（ア）　提出者の商号又は名称及び代表者名

（イ）　当該入札等に係る建設工事等の名称及び場所

⑵　工事費内訳書については、本工事・附帯工事内訳書（種別程度）の記載を求めるが、様式は指定しないものとする。

⑶　提出された工事費内訳書が次のアからエまでのいずれかに該当する場合には、その者は資格要件を満たしていないものとみなし、その者が行った入札を無効とする。

（ア）　記名押印がない場合

（イ）　工事名に誤りがある場合

（ウ）　本工事・附帯工事内訳書（種別程度）の記載がない場合

（エ）　入札書に記載した価格と入札時に提出された工事費内訳書に記載している工事費総額が相違している場合

⑷　入札参加者は、適切な見積りに基づいて入札するよう努めなければならない。

⑸　入札後、落札業者が不良・不適格な業者と疑われるに至った場合及び低入札価格調査を行う場合並びに当該工事において談合があると疑うに足りる事実があると認められる場合においては、提出された工事費内訳書の内容を確認するものとする。談合があると疑うに足りる事実があると認められた場合には、必要に応じ提出された工事費内訳書を公正取引委員会等に提出するものとする。

⑹　工事費内訳書の作成に要する費用は、提出者の負担とする。

⑺　提出された工事費内訳書は、返却しないものとする。

6　落札者の決定

⑴　落札者は、町の予定価格以内で最低価格の入札をした者とする。ただし、最低制限価格の設定のある場合は、予定価格以内であって最低制限価格以上の最低価格の入札をした者とする。

⑵　落札となるべき同価の入札をした者が２人以上あるときは、直ちに当該入札者にくじを引かせて落札者を決定する。この場合、くじ引きを拒否することはできない。

7　無効入札に関する事項

次に該当する場合は、その入札を無効にする。

⑴　入札に参加する者に必要な資格のない者が入札したとき。

⑵　工事名に誤りがある場合

⑶　記名押印のない入札

⑷　金額を訂正した入札

⑸　入札が取り消すことができる無能力者の意志表示であるとき。

⑹　契約担当職員が定めた入札に関する条件に違反したとき。

⑺　入札者が２以上の入札をしたとき。

⑻　他人の代理を兼ね、又は２人以上の代理をして入札をしたとき。

⑼　入札者が連合（談合）して入札をしたとき、その他入札に際して不正の行為があったとき。

⑽　必要な記載事項を確認できない入札をしたとき。

⑾　工事費内訳書の提出がないとき。

8　再度入札

再度入札は、行わない。

9　入札の辞退

⑴　指名を受けた者は、入札時までいつでも入札を辞退することができる。

⑵　指名を受けた者が入札を辞退するときは、次に掲げるところにより行うものとする。

（ア）　入札前にあっては、その旨の書面を契約担当者等に直接持参するか郵送するものとする。

（イ）　入札中にあっては、その旨を入札書に記載し入札箱に投入するものとする。

⑶　入札を辞退した者は、これを理由として以後の指名等について不利益な取扱いを受けるものではない。

10　入札の打ち切り

指名競争入札を打ち切る場合は、次に掲げるところにより行うものとする。

⑴　入札前にあっては、指名を受けた者が１人を残し他の指名を受けた者が辞退した場合

⑵　入札中（再度入札を除く。）にあっては、入札参加者１人を残し他の参加者が辞退し又は無効となった場合

11　建設リサイクル法関係書面の提出

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成１２年度法律第１０４号。以下「法」という。）第９条第１項に規定する**「対象建設工事」（下記《対象建設工事の定義》参照）**を請け負おうとする者は、法第１２条第１項に基づき、法第１０条第１項第１号から第５号までに掲げる事項について記載した書面を交付して説明しなければならない。

また、請負契約の当事者は、法第１３条及び「特定建設資材に係る分別解体等に関する省令」（平成１４年国土交通省令第１７号。以下「省令」という。）第４条に基づき、①分別解体等の方法、②解体工事に要する費用、③再資源化等をするための施設の名称及び所在地、④再資源化等に要する費用について、請負契約に係る書面に記載し、署名又は記名押印して相互に交付しなければならない。

このため、対象建設工事の落札者は、次の事項に留意し、落札決定通知の日から**４日以内**に、発注者（工事担当課）に対して、「法第１２条第１項に基づく書面」を提出し、法第１０条第１項第１号から第５号までに掲げる事項について説明した後、発注者（契約担当課）に対して、「法第１３条及び省令第４条に基づく書面」を提出しなければならない。

対象建設工事の落札者がこれらの書面をこの期間内に提出しない場合、契約を締結することができないものとし、落札者が落札しても契約を締結しないもの（契約締結拒否）として取扱う。この場合、当該落札者は、契約保証の措置を行うために要する費用その他一切の費用について、発注者に請求できない。

⑴　「法第１２条第１項に基づく書面」は、別紙様式（１２条関係様式）により作成すること。

⑵　「法第１３条及び省令第４条に基づく書面」は、別紙様式（１３条関係様式）により作成すること。

⑶　「法第１３条及び省令第４条に基づく書面」中の「解体工事に要する費用」及び「再資源化に要する費用」は直接工事費とすること。

⑷　「法第１３条及び省令第４条に基づく書面」中の「再資源化に要する費用」は、特定建設

資材廃棄物の再資源化に要する費用とし、再資源化施設への搬入費に運搬費を加えたものとすること。

《対象建設工事の定義》

「対象建設工事」とは、次の（ア）に示す特定建設資材を使用した若しくは使用する予定又は特定建設資材の廃棄物が発生する（イ）の工事規模の建設工事をいう。

（ア）特定建設資材（１品目以上）

① コンクリート

② コンクリート及び鉄から成る建設資材

③ 木材

④ アスファルト・コンクリート

（イ）工事規模

工事の種類	規模の基準
建築物解体工事	床面積の合計　８０㎡以上
建築物新築・増築工事	床面積の合計　５００㎡以上
建築物修繕・模様替工事	請負代金の額　１億円以上
建築物以外の工作物工事	請負代金の額　５００万円以上

（注）解体・増築の場合は、各々解体・増築に係る床面積をいう。

12　現場代理人届並びに工程表の届出

現場代理人届並びに工程表については、契約締結後**１４日以内**に届け出ること。

13　建設業退職金共済制度について

受注者は、工事に係る建設業退職金共済制度における共済証紙（以下「共済証紙」という。）を購入した場合（工事請負契約の変更等により追加購入した場合も含む。）は、購入状況を工事完成時までに発注者に書面で報告するものとする。この報告に当たっては、共済証紙を販売する金融機関が発行する発注者用掛金収納書を添付するものとする。

14　その他の留意事項

⑴　刑法、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律を遵守し、入札の公正を害する行為は行わないこと。

⑵　建設業法に違反する一括下請契約、いわゆる裏ジョイント契約その他不適切な形態により工事を実施する等契約当事者間の信頼を損なう行為は行わないこと。

⑶　入札に際し、不正な行為又は疑惑を招く行為は行わないこと。

15　質問書の提出

入札に参加しようとする者は、入札閲覧仕様書（契約条項、仕様書、図面等をいう。）に関して質問がある場合は、次により入札閲覧仕様書に関する質問書を提出することができる。

⑴　提出方法

書面又はFaxにより大崎上島町総務課行政係に提出すること。

⑵　提出期限

原則、質問書は、入札日の前週金曜日（入札日が月曜日又は月曜日が閉庁日の場合は、前週木曜日）の午前中までに提出すること。

特記仕様書

第１章　総則

第１節　適用

１．本特記仕様書は、「橋梁修繕工事（御旅橋ほか）」に適用する。

２．本特記仕様書に記載のない事項については、土木工事共通仕様書（令和６年８月）広島版、その他関係書類によること。

第２節　法定外の労災保険の付保

１．本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

２．受注者は、建設工事請負契約約款第 47 条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

第３節　工事中情報共有システム

１．工事中情報共有システムの利用は受注者の任意とする。工事中情報共有システムの利用を希望する場合は、発注者に連絡の上、利用申込すること。

２．本工事で使用する工事中情報共有システムは下記のとおり。

広島県工事中情報共有システム（一般社団法人広島県土木協会）

http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html

第２章　施工条件

第１節　建設副産物

１．特定建設資材廃棄物等（コンクリート殻、アスファルト殻）

当該工事により発生する特定建設資材廃棄物等は、広島県環境県民局及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第２節　安全対策

１．交通誘導警備員

交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督員と協議を行った上で変更対象とする。

第３節　その他

１．事前確認

本工事における橋梁補修工について、着手前に施工範囲を事前確認し、図面及び施工数量を報告すること。設計数量と施工数量に差があると認められる場合は、設計変更の対

象とする。

第3章　その他

1．本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事番号:　　第　　号

国費

大崎上島町

令和7年度

橋梁修繕工事(御旅橋ほか)

豊田郡大崎上島町明石

当　初

工 事 概 要

御旅橋修繕
- 橋梁附属物工
  - 伸縮装置設置工　16m
  - 防護柵塗替工　6㎡
- 橋梁補修工
  - ひび割れ補修工　5m
  - 断面修復工　0.08㎥
  - 水切り設置工　11m
  - 主桁補修工　45㎡
- 仮設工
  - 枠組足場　22掛㎡
- 処分工
  - コンクリート殻処分　0.5t

大正橋
- 舗装打換え工　29㎡
- 橋面防水工　29㎡
- 橋梁付属物工
  - 伸縮装置設置工　24m
  - 防護柵塗替工　13㎡
- 橋梁補修工
  - ひび割れ補修工　11m
  - 断面修復工　0.8㎥
- 処分工
  - コンクリート殻処分　0.5t

総括情報表

変更回数	0	
適用単価地区	56 大崎上島町	
単価適用日	00-07.06.01(0)	
諸経費体系	1　公共(一般)	
	当世代	前世代
工種	41　橋梁保全工事	
施工地域・工事場所区分	06　山間僻地及び離島	
復興補正区分	00　補正なし	
週休補正区分	00　補正なし	
現場事務所等の貸与区分	00　補正なし	
ＩＣＴ補正区分	00　補正なし	
冬期補正係数	00　補正なし	
緊急工事区分	00　通常工事　０％	
前払金支出割合区分	00　補正無し	
契約保証区分	01　金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

御旅橋　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
御旅橋					X1000
橋梁保全工事	1	式			Y1G03　　レベル1
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321　　レベル2
伸縮継手工	1	式			Y1G032101　レベル3
鋼・ゴム製伸縮装置補修	16	m			Y1G03210103レベル4
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	32	m			SPK24040306 00 単第0 -0001　表
構造物取壊し工 無筋構造物　時間的制約なし 人力施工	0.03	m3			F000001600　00
伸縮装置止水部補修 SMジョイント	1	式			V000000300　00 単第0 -0002　表
防護柵塗替工	1	式			Y3999　　レベル3

御旅橋　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護柵塗替工	1	式			Y4999　　レベル4
塗替塗装 素地調整	6	m2			SDT00029　　00 単第0 -0003　表
塗替塗装 中塗り塗装	6	m2			SDT00029　　00 単第0 -0004　表
塗替塗装 上塗り塗装	6	m2			SDT00029　　00 単第0 -0005　表
橋梁補修工	1	式			Y1G0324　　レベル2
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404　レベル3
低圧注入工法 【材料種類】	1	構造物			Y1G03240402レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合	1	構造物			S1020035　　00 単第0 -0006　表
充てん工法 【エポキシ樹脂】	1	構造物			Y1G03240401レベル4

御旅橋　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ひび割れ補修工(充てん工法) 補修延べ延長20m未満の場合	1	構造物			S1020031　00 単第0 -0007　表
断面修復工	1	式			Y1G032405　レベル3
左官工法 【材料種類】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】	1	構造物			Y1G03240501レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	1	構造物			S1020043　00 単第0 -0008　表
水切り設置工	1	式			Y4999　レベル4
水切り ウォーターカッター	11	m			V000000100　00 単第0 -0009　表
主桁補修工	1	式			Y3999　レベル3
主桁補修	1	式			Y4999　レベル4
欠損部補修 欠損部深さ30㎜ N＝1.8　上向　規模0.5	0.12	m2			F000001900　00

御旅橋　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
断面接合注入 36箇所/㎡　注入1回 穿孔深さ20cm　N＝1.3　上向　特許料有	7.97	m2			F000001800　00
断面接合注入 36箇所/㎡　注入１回 穿孔深さ7cm　N＝1.3　上向　特許料有	37.08	m2			F000001700　00
仮設工	1	式			Y1A0115　　レベル2
橋梁足場工	1	式			Y1A041201　レベル3
足場 【安全ネットの有無】	20	掛㎡			Y1G03240502 レベル4
手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場 手摺先行型枠組足場	20	掛m2			S0380　　00 単第0 -0010　表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327　　レベル2
運搬処理工	1	式			Y1G032716　レベル3
殻運搬 【Co殻】	0.2	m3			Y1G03271601 レベル4

御旅橋　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破砕 DID区間無し 運搬距離12.0km以下(9.0km超)	0.2	m3			SPK24040151 00 単第0 -0011　表
殻処分 【Co殻】	0.2	m3			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 ｺﾝｸﾘｰﾄ殻　無筋 岡本建設㈱ 中間処理場	0.5	t			F9011　　00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					

御旅橋　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率… 率参照額……
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					 当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費＊＊					

大正橋　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
大正橋					X2000
橋梁保全工事	1	式			Y1G03　　レベル1
舗装工	1	式			Y1G0304　　レベル2
舗装打換え工	1	式			Y1G030402　レベル3
舗装版切断 【舗装版種別,舗装厚】	2	m			Y1G03040201レベル4
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	2	m			SPK24040306 00 単第0 -0001　表
舗装版破砕 【舗装版種別,舗装版厚】	29	m2			Y1G03040202レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	0.03	m3			SDT00031　　00 単第0 -0012　表
表層 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】	29	m2			Y1G03040211レベル4

大正橋　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	29	m2			SPK24040241 00 単第0 -0013　表
橋面防水工	1	式			Y1E020403　レベル3
橋面防水	29	m2			Y1E02040301レベル4
橋面防水工(補修) 塗膜系防水 アスファルト系	29	m2			SS000255　00 単第0 -0014　表
排水用導水管 φ18mm ステンレス製	15	m			TTPC00029　00
成形目地材 厚5mm×幅30mm (参考)セロシールSSテープ	15	m			TH007250　00
端部処理 シルバーメッシュテープ	14	m			W0001
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321　レベル2
伸縮継手工	1	式			Y1G032101　レベル3

大正橋　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼・ゴム製伸縮装置補修	13	m			Y1G03210103レベル4
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	24	m			SPK24040306 00 単第0 -0001　表
構造物取壊し工 無筋構造物　時間的制約なし 人力施工	0.03	m3			F000001600　00
伸縮装置止水部補修 SMジョイント	1	式			V000000600　00 単第0 -0015　表
道路付属構造物塗装工	1	式			Y1G032502　レベル3
防護柵塗替	1	式			Y4999　レベル4
塗替塗装 素地調整	13	m2			SDT00029　00 単第0 -0003　表
塗替塗装 下塗り塗装	13	m2			SDT00029　00 単第0 -0016　表
塗替塗装 下塗り塗装	13	m2			SDT00029　00 単第0 -0017　表

大正橋　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 中塗り塗装	13	m2			SDT00029　00 単第0 -0004　表
塗替塗装 上塗り塗装	13	m2			SDT00029　00 単第0 -0005　表
橋梁補修工	1	式			Y1G0324　レベル2
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404　レベル3
低圧注入工法 【エポキシ樹脂1種】	1	構造物			Y1G03240402レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合	1	構造物			S1020035　00 単第0 -0018　表
充てん工法 【エポキシ樹脂】	1	構造物			Y1G03240401レベル4
ひび割れ補修工(充てん工法) 補修延べ延長20m未満の場合	1	構造物			S1020031　00 単第0 -0007　表
断面修復工	1	式			Y1G032405　レベル3

大正橋　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
左官工法 【材料種類】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】	1	構造物			Y1G03240501レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	1	構造物			S1020039　00 単第0 -0019　表
高耐候性シール材設置工	1	式			Y4999　レベル4
Rプライマー 10kg荷姿	1	セット			W0001
RACタッチ（100×240） 600枚/箱	1	箱			W0002
高耐候性シール材設置工 材料費別	9	箇所			W0001
左官工法 【材料種類】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】	1	構造物			Y1G03240501レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) 修復延べ体積0.77m3	1	構造物			S1020045　00 単第0 -0020　表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327　レベル2

大正橋　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬処理工	1	式			Y1G032716　レベル3
殻運搬 【Co殻】	2	m3			Y1G03271601レベル4
殻運搬 舗装版破砕 DID区間無し　運搬距離4.5km以下(3.5km超)	2	m3			SPK24040151 00 単第0 -0021　表
殻処分 【Co殻】	2	m3			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 ｺﾝｸﾘｰﾄ殻　無筋 岡本建設㈱ 中間処理場	5	t			F9011　00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……

大正橋　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率… 率参照額……
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					

大正橋　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊工事費＊＊					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

施工単価表

舗装版切断　　SPK24040306　　単第0 -0001　表

コンクリート舗装版　　コンクリート舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比:　13.36%　労務構成比:　49.56%　材料構成比:　37.08%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価 :　1,222.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	9.09%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	16.98%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.17%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	7.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	33.48%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.45%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断　　SPK24040306　　単第0 -0001　表

コンクリート舗装版　　コンクリート舗装版厚15cm以下　　1　　m　　当り

機械構成比:　13.36%　労務構成比:　49.56%　材料構成比:　37.08%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価 :　1,222.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=2　コンクリート舗装版 E=1　-(全ての費用)			C=1　コンクリート舗装版厚15cm以下		

施工単価表

伸縮装置止水部補修　　V000000300　　単第0 -0002　表

SMジョイント　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.00	人			
特殊作業員	2.00	人			
普通作業員	8.00	人			
SMジョイント 　SMシール材	10	10缶セット			
専用プライマー	2	缶			
バックアップ材	16	m			
ハンドミキサー	2	日			
ハンドカッター	2	日			
発電機 　2kVA	2	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

塗替塗装　　SDT00029　　単第0 -0003　表

素地調整　　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_塗替塗装【材工共】 素地調整_3種ケレンA 時間的制約なし	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　昼間施工 C=3　3種ケレンA(動力工具と手工具の併用) I=1　時間的制約なし			B=2　素地調整 H=7　高欄部単独施工		

施工単価表

塗替塗装　　SDT00029　　単第0 -0004　表

中塗り塗装　　1　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_塗替塗装【材工共】 中塗り_長油性フタル酸樹脂塗料_淡彩 はけ・ローラー,時間的制約なし	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　昼間施工 E=1　長油性フタル酸樹脂塗料 H=7　高欄部単独施工			B=5　中塗り塗装 G=2　淡彩 I=1　時間的制約なし		

施工単価表

塗替塗装　　SDT00029　　単第0 -0005　表

上塗り塗装　　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_塗替塗装【材工共】 上塗り_長油性フタル酸樹脂塗料_淡彩 はけ・ローラー,時間的制約なし	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　昼間施工 E=1　長油性フタル酸樹脂塗料 H=7　高欄部単独施工			B=6　上塗り塗装 G=2　淡彩 I=1　時間的制約なし		

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)　S1020035　単第0 -0006　表

補修延べ延長25m未満の場合　1　構造物　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
注入材 エポキシ樹脂1種 E206相当品	0.100	kg			
シール材 E390相当品	0.274	kg			
低圧注入器具 シリンダーセット相当品	4.000	本			
諸雑費	6	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	構造物			
A=2　【F】注入材(kg) C=4　【F】シール材(kg) E=5　【F】低圧注入器具(個)			B=0.1　注入材の必要数量(kg/構造物) D=0.2　シール材の設計数量(kg/構造物) F=4　低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		

施工単価表

ひび割れ補修工(充てん工法)　S1020031　単第0 -0007　表

補修延べ延長20m未満の場合　1　構造物　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.850	人			
特殊作業員	1.300	人			
普通作業員	1.100	人			
充填材 可とう性エポキシ樹脂 E600相当品	0.001	kg			
諸雑費	17	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	構造物			
A=6　【F】充てん材(kg)			B=0.001　充てん材の設計数量(kg/構造物)		

施工単価表

断面修復工(左官工法)　　S1020043　　単第0 -0008　表

(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない)　　修復延べ体積0.1m3未満の場合　　1　　構造物　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.900	人			
特殊作業員	3.200	人			
普通作業員	2.100	人			
充填材 可とう性エポキシ樹脂 E600相当品	0.107	kg			
諸雑費	9	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	構造物			
A=6　【F】断面修復材(m3)			B=0.091　断面修復材の設計数量(m3/構造物)		

施工単価表

水切り　　V000000100　　単第0 -0009　表

ウォーターカッター　　100　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.12	人			
特殊作業員	1.12	人			
普通作業員	2.23	人			
水切り材 　ウォーターカッター相当品	100	m			
諸雑費	3	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場　　S0380　　単第0 -0010　表

手摺先行型枠組足場　　100　　掛m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.600	人			
とび工	7.000	人			
普通作業員	1.300	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	1.400	日			
諸雑費	34	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	掛m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	掛m2			
A=1　手摺先行型枠組足場 C=0　潮待割増			B=1　安全ネットを設置しない		

施工単価表

殻運搬　　SPK24040151　　単第0 -0011　表

舗装版破砕　　DID区間無し 運搬距離12.0km以下(9.0km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　18.57%　労務構成比:　72.35%　材料構成比:　9.08%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価 :　7,245.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　舗装版破砕 C=1　DID区間無し E=1　-(全ての費用)			B=4　機械積込(小規模土工) D=47　運搬距離12.0km以下(9.0km超)		

施工単価表

構造物とりこわし工(無筋構造物)　　SDT00031　　単第0 -0012　表

人力施工　　1　　m3　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_無筋構造物【手間のみ】 人力施工 時間的制約なし	1.000	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　昼間施工 D=1　時間的制約なし			B=2　人力施工		

施工単価表

表層(車道・路肩部)　　SPK24040241　　単第0 -0013　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　　1層当り平均仕上厚50mm　　1　　m2　　当り

機械構成比:　0.44%　労務構成比:　43.60%　材料構成比:　55.96%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価 :　2,767.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg	0.14%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.29%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	13.81%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.17%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	54.13%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	1.60%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027

施工単価表

表層(車道・路肩部)　　SPK24040241　　単第0 -0013　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　　1層当り平均仕上厚50mm　　1　　m2　　当り

機械構成比:　0.44%　労務構成比:　43.60%　材料構成比:　55.96%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価 :　2,767.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.17%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1　平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=7　再生密粒度アスファルト混合物(13) G=2　小型車割増有 I=1　-(全ての費用)			B=50　1層当り平均仕上り厚(mm) E=1　PK-4 H=1　-		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

橋面防水工(補修) 塗膜系防水　　SS000255　　単第0 -0014　表

アスファルト系　　1　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜系防水【材工共】 アスファルト系 補修	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　　－					

施工単価表

伸縮装置止水部補修　　V000000600　　単第0 -0015　表

SMジョイント　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.00	人			
特殊作業員	2.00	人			
普通作業員	8.00	人			
SMジョイント 　SMシール材	5	10缶セット			
専用プライマー	2	缶			
バックアップ材	13	m			
ハンドミキサー	2	日			
ハンドカッター	2	日			
発電機 　2kVA	2	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

塗替塗装　　SDT00029　　単第0 -0016　表

下塗り塗装　　1　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_塗替塗装【材工共】 下塗り_鉛・クロムフリーさび止め(2層) はけ・ローラー,時間的制約なし	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　昼間施工 D=3　鉛・クロムフリーさび止めペイント(2層) I=1　時間的制約なし			B=4　下塗り塗装 H=7　高欄部単独施工		

施工単価表

塗替塗装　　SDT00029　　単第0 -0017　表

下塗り塗装　　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_塗替塗装【材工共】 下塗り_弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(1層) はけ・ローラー,時間的制約なし	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　昼間施工 D=1　弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(1層) I=1　時間的制約なし			B=4　下塗り塗装 H=7　高欄部単独施工		

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)　S1020035　単第0 -0018　表

補修延べ延長25m未満の場合　1　構造物　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
注入材 エポキシ樹脂1種 E206相当品	0.730	kg			
シール材 E390相当品	2.904	kg			
低圧注入器具 シリンダーセット相当品	34.000	本			
諸雑費	6	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	構造物			
A=2　【F】注入材(kg) C=4　【F】シール材(kg) E=5　【F】低圧注入器具(個)			B=0.73　注入材の必要数量(kg/構造物) D=2.12　シール材の設計数量(kg/構造物) F=34　低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		

施工単価表

断面修復工(左官工法)　　S1020039　　単第0 -0019　表

(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)　　修復延べ体積0.1m3未満の場合　　1　　構造物　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.300	人			
特殊作業員	3.800	人			
普通作業員	2.500	人			
充填材 可とう性エポキシ樹脂 E600相当品	0.085	kg			
諸雑費	11	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	構造物			
A=6　【F】断面修復材(m3)			B=0.072　断面修復材の設計数量(m3/構造物)		

施工単価表

断面修復工(左官工法)　　S1020045　　単第0 -0020　表

(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない)　　修復延べ体積0.77m3　　1　構造物　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	14.630	人			
特殊作業員	24.640	人			
普通作業員	16.170	人			
充填材 可とう性エポキシ樹脂 E600相当品	1.074	kg			
諸雑費	9	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	構造物			
A=0.77　1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=0.91　断面修復材の設計数量(m3/構造物)			B=6　【F】断面修復材(m3)		

施工単価表

殻運搬　　SPK24040151　　単第0 -0021　表

舗装版破砕　　DID区間無し 運搬距離4.5km以下(3.5km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　18.57%　労務構成比:　72.35%　材料構成比:　9.08%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価 :　4,025.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　舗装版破砕 C=1　DID区間無し E=1　-(全ての費用)			B=4　機械積込(小規模土工) D=20　運搬距離4.5km以下(3.5km超)		

数量計算書

施工年度　　令和7年度

工事名　　橋梁修繕工事（御旅橋ほか）

工事場所　　豊田郡大崎上島町明石

当　初

1.補修工数量集計表

御旅橋

工　種	種　別	細　別	仕　様	単位	合計	備　考
橋梁 付属物工	伸縮装置設置工		コンクリートカッター工　t＝50㎜	m	31.74	
			はつり工	m3	0.027	
			伸縮装置設置工　（SMジョイント同等品）	m	15.85	
			プライマー（1液型ウレタンプライマー）	kg	0.03	
			特殊弾性樹脂（SMシール同等品）	ﾘｯﾄﾙ	33.16	
	防護柵塗替工		素地調整工：3種ケレンA	m2	5.48	
			中塗り工（環境対応型長油性フタル酸樹脂塗料）	m2	5.48	0.17kg/m2
			上塗り工（環境対応型長油性フタル酸樹脂塗料）	m2	5.48	0.15kg/m2
橋梁補修工	ひび割れ補修工	低圧注入工法	施工延長	m	0.95	
			シール材（エポキシ樹脂パテ）	kg	0.15	ロス含まず
			注入材（土木補修用エポキシ樹脂注入材1種）	kg	0.07	ロス含まず
			低圧注入器具	個	4	
		ひび割れ充填工法	施工延長	m	3.60	
			充填材（ポリマーセメントモルタル）	m3	0.001	ロス含まず
	断面修復工	左官工法	断面修復工（ケレン・防錆処理含まず）	m3	0.077	
			断面修復材（ポリマーセメントモルタル）	m3	0.077	ロス含まず
	水切り設置工	水切り設置工	H20㎜、W＝25㎜	m	11.42	
		水切り材	ウォーターカッター同等品	m	11.42	
	主桁補修工	IPH工法同等品	断面接合注入	m2	45.05	
		欠損部補修工	t＝30㎜	m2	0.12	
		断面接合注入	削孔長200㎜	m2	7.97	橋面うき部
		断面接合注入	削孔長70㎜	m2	37.08	
仮設工	枠組足場		主桁補修用足場	掛m2	22.39	
処分工	コンクリート殻処分	コンクリート殻処分	断面修復工	m3	0.197	0.5(t)

2.数量計算書

2.1 伸縮装置設置工

(1) 数量集計表

種　別	仕　様	単位	路面部	合計	備考
コンクリートカッター工	t ＝50㎜	m	31.74	31.74	
はつり工	人力	m3	0.027	0.027	
伸縮装置設置工	SMジョイント同等品	m	15.85	15.85	
プライマー塗布	１液型ウレタン系	kg	0.03	0.03	
特殊弾性樹脂材	SMシール材同等品	リットル	33.16	33.16	

(2) 伸縮装置設置工

1) コンクリートカッター工

t ＝　50　mm

A1側　L1 ＝ (　4.56　＋　4.56　) × 2　＝ 18.24 m

L2 ＝　0.09　× 2　＝ 0.18 m

A2側　L3 ＝　6.66　× 2　＝ 13.32 m

合計 31.74 m

2) はつり工

A1側　V ＝　4.560 × 0.060 × 0.050 × 2　＝ 0.027 m3

A2側　V ＝　0.090 × 0.020 × 0.050　＝ 0.000 m3

合計 0.027 m3

3) 伸縮装置設置工

SMジョイント同等品

A1側　L ＝ 4.550 ＋ 0.09 ＋ 4.55　＝ 9.19 m

A2側　L ＝ 6.660　＝ 6.66 m

合計 15.85 m

プライマー

A1側　L ＝ 9.190 × 0.035　＝ 0.32 m2

A2側　L ＝ 6.660 × 0.035　＝ 0.23 m2

合計 0.55 m2

V ＝ 0.55 × 0.05　＝ 0.03 kg

特殊弾性シール材

SMシール同等品

A1側　V1 ＝ 4.550 × 0.060 × 0.035 × 1000 × 2　＝ 19.11 リットル

V2 ＝ 0.090 × 0.020 × 0.035 × 1000　＝ 0.06 リットル

A2側　L ＝ 6.660 × 0.060 × 0.035 × 1000　＝ 13.99 リットル

合計 33.16 リットル

2.2 防護柵塗替工

(1) 集計表

塗装面積			単位	防護柵			合計
			m2	5.48			5.48
塗替塗装工	素地調整	3種ケレンA	m2	5.48			5.48
	下塗		m2				
			kg				
	中塗	長油性フタル酸樹脂塗料中塗	m2	5.48			5.48
		0.17kg/m2	kg	0.93			0.93
	上塗	長油性フタル酸樹脂塗料上塗	m2	5.48			5.48
		0.15kg/m2	kg	0.82			0.82

(2) 防護柵塗替工

1) 面積

上流側

笠木	A1 ＝ (0.15 ＋ 0.075) × 3.975 × 2	＝	1.79	m2
ビーム	A2 ＝ 4.68 × 0.44 × 2	＝	4.12	m2
支柱	A3 ＝ 0.1 × 4 × 0.85 × 4	＝	1.36	m2
		合計	5.48	m2

2) 素地調整工

ビーム表面の全面腐食として、全面積の15%以上が腐食

3種ケレンA

A ＝ 5.48 ＝ 5.48 m2

3) 防護柵塗替工

国土交通省標準積算基準 Ⅳ-3-⑧ 道路付属物塗替工より塩化ゴム系

中塗 塩化ゴム系塗料中塗 0.17 kg/m2

A ＝ 5.48 ＝ 5.48 m2

W ＝ 5.48 × 0.17 ＝ 0.93 kg

上塗 塩化ゴム系塗料上塗 0.15 kg/m2

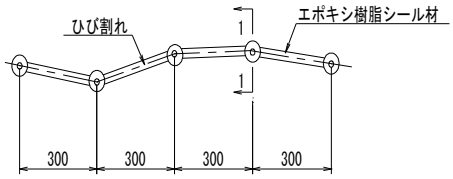
A ＝ 5.48 ＝ 5.48 m2

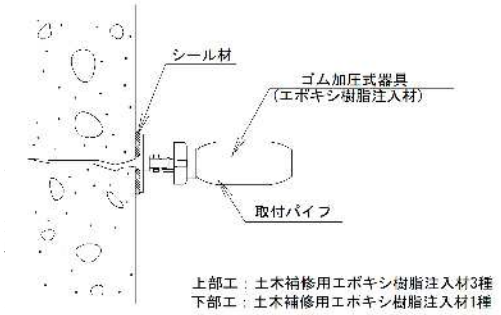
W ＝ 5.48 × 0.15 ＝ 0.82 kg

2.3 ひび割れ補修工

(1) 低圧注入工法

ひび割れ幅　0.2㎜以上～1.0㎜未満





・低圧注入工法集計表

種類	仕様・規格	単位	上部工	下部工	合計
ひび割れ注入工	低圧注入	m	-	0.95	0.95
シール材	エポキシ樹脂	kg	-	0.15	0.15
注入材	エポキシ樹脂1種	kg	-	0.07	0.07
注入器具	―	個	-	4	4

1) 下部工

・ひび割れ延長

L ＝　0.45　＋　0.50　　＝　0.95　m

・注入工法

シール材(エポキシ樹脂)　比重：1.70

	幅　厚さ　延長(m)　(kg/m3)	重量(kg)
	0.030　×　0.003　×　0.95　×　1700	0.145
	合　計	0.15

注入材(エポキシ樹脂1種) 比重：1.15　　(ひび割れ幅は、平均値を使用する。)

	平均幅　想定深さ　延長(m)　(kg/m3)	重量(kg)
	0.0004　×　0.300　×　0.95　×　1150	0.066
	合　計	0.07

・低圧注入器具　　300㎜ピッチ

N ＝　0.95　/　0.3　＝　3.2　　＝　4　個

②A1橋台

ひび割れ延長調書

径間	部位	番号	幅(mm)	長さ(m) × 箇所数	延長(m)
A1橋台	竪壁	1	0.60	0.45 × 1	0.45
	小計				0.45

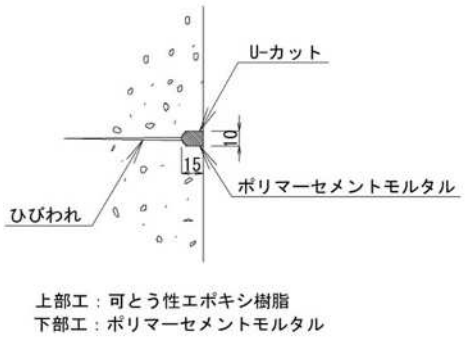
②A2橋台

ひび割れ延長調書

径間	部位	番号	幅(mm)	長さ(m) × 箇所数	延長(m)
A2橋台	竪壁	1	0.20	0.30 × 1	0.30
	竪壁	2	0.20	0.20 × 1	0.20
	小計				0.50

(2)Uカット充填工法

ひび割れ幅　1.0mm以上



上部工：可とう性エポキシ樹脂
下部工：ポリマーセメントモルタル

・Uカット充填工法集計表

種類	仕様・規格	単位	上部工	下部工	合計
ひび割れ補修工	充填工法	m	-	3.60	3.60
充填材	ポリマーセメントモルタル	m3	-	0.001	0.001

1) 下部工

・ひび割れ延長

L ＝ 1.35 ＋ 2.25 ＝ 3.60 m

充填材(ポリマーセメントモルタル

	計算式	重量(m3)
	(0.01 × 0.01 ＋ 0.005 × 0.005 × 3.14 × 1/2)	
	× 3.60	0.001
	延長	
合　計		0.001

①A1橋台

ひび割れ延長調書

径間	部位	番号	幅(mm)	長さ(m) × 箇所数	延長(m)
A1橋台	竪壁	1	2.50	0.60 × 1	0.60
	竪壁	2	1.00	0.75 × 1	0.75
	小計				1.35

②A2橋台

ひび割れ延長調書

径間	部位	番号	幅(mm)	長さ(m) × 箇所数	延長(m)
A2橋台	竪壁	1	4.00	0.35 × 1	0.35
	竪壁	2	5.00	1.90 × 1	1.90
	小計				2.25

2.4 断面修復工

2.7.1　左官工法（ケレン・防錆処理含まず）

（1）断面修復工　左官工法　集計表

種類	仕様・規格	単位	上部工	下部工	合計	備考
はつり工	人力	m3	-	0.077	0.077	
断面修復工	左官工	m3	-	0.077	0.077	
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m3	-	0.077	0.077	

（2）断面修復集計表（下部工）

径間	はつり面積 (m2)	体積 (m3)
A1橋台	0.93	0.060
A2橋台	0.21	0.017
合計	1.14	0.077

1）はつり工

V　＝　(3) 断面修復集計表：体積より　＝　0.077 m3

2）断面修復工（左官工法）

V　＝　(3) 断面修復集計表：体積より　＝　0.077 m3

3)断面修復材

ポリマーセメントモルタル断面修復材

V　＝　0.077　＝　0.077 m3

①A1橋台

断面修復数量表

種　類	径　間	部　位	番号	幅 (m)	長さ (m)	想定深さ (m)	箇所数	ｶｯﾀｰ工 (m)	面積 (m2)	体積 (m3)
うき	A1橋台	竪壁	1	1.00	0.50	0.050	1	3.000	0.500	0.0250
うき		竪壁	2	0.05	0.40	0.050	1	0.900	0.020	0.0010
うき		竪壁	3	0.25	0.25	0.050	1	1.000	0.063	0.0031
うき		竪壁	4	0.20	0.70	0.080	1	1.800	0.140	0.0112
うき		竪壁	5	0.60	0.25	0.100	1	1.700	0.150	0.0150
うき		竪壁	6	0.35	0.15	0.080	1	1.000	0.053	0.0042
合　計								9.40	0.93	0.060

②A2橋台

断面修復数量表

種　類	径　間	部　位	番号	幅 (m)	長さ (m)	想定深さ (m)	箇所数	ｶｯﾀｰ工 (m)	面積 (m2)	体積 (m3)
うき	A2橋台	竪壁	1	0.40	0.20	0.080	1	1.200	0.080	0.0064
うき		竪壁	2	0.65	0.20	0.080	1	1.700	0.130	0.0104
合　計								2.90	0.21	0.017

2.5　主桁下面補修工

(1) 集計表

種　別	仕　様	単位	主桁	合計	備考
IPH工法	断面接合注入工	m2	45.05	45.05	
欠損部補修工	ｔ＝30㎜	m2	0.12	0.12	
断面接合注入Ⅰ	削孔長200㎜	m2	7.97	7.97	
断面接合注入Ⅱ	削孔長70㎜	m2	37.08	37.08	

(2) 主桁補修工

IPH工法

1)　対象面積

主桁下面

A1 ＝ 5.40 × (4.55 ＋ 2.322) ＝ 37.11 m2

A2 ＝ (5.40 ＋ 1.723) /2 × 2.228 ＝ 7.94 m2

合計 45.05 m2

3) 欠損部補修工

A ＝ 0.12 ＝ 0.12 m2

V ＝ 0.007 ＝ 0.007 m3

欠損部補修工集計表

番号	計算式	面積(m2)	深さ(m)	体積(m3)	備考
1	(0.226+0.267) /2×0.500	0.12	0.06	0.007	

4) 断面接合注入（削孔長200㎜）：橋面うき部

断面接合注入（削孔長200㎜）集計表

番号	計算式			面積(m2)
①	0.850	×	0.850	0.72
②	0.700	×	0.400	0.28
③	0.900	×	1.700	1.53
④	0.350	×	1.932	0.68
⑤	1.085	×	0.650	0.71
⑥	1.010	×	0.350	0.35
⑦	1.000	×	1.390	1.39
⑧	1.820	×	1.100	2.00
⑨	0.500	×	0.615	0.31
合計				7.97

5) 断面接合注入（削孔長　70㎜：削孔長200㎜以外の範囲）

A ＝ 45.05 － 7.97 ＝ 37.08 m2

2.6　水切り設置工

(1) 集計表

項目	明細	単位	上流側	下流側	合計	備考
水切り設置工		m	6.02	5.40	11.42	
水切り材	ウォーターカッター同等品	m	6.02	5.40	11.42	接着剤同梱包

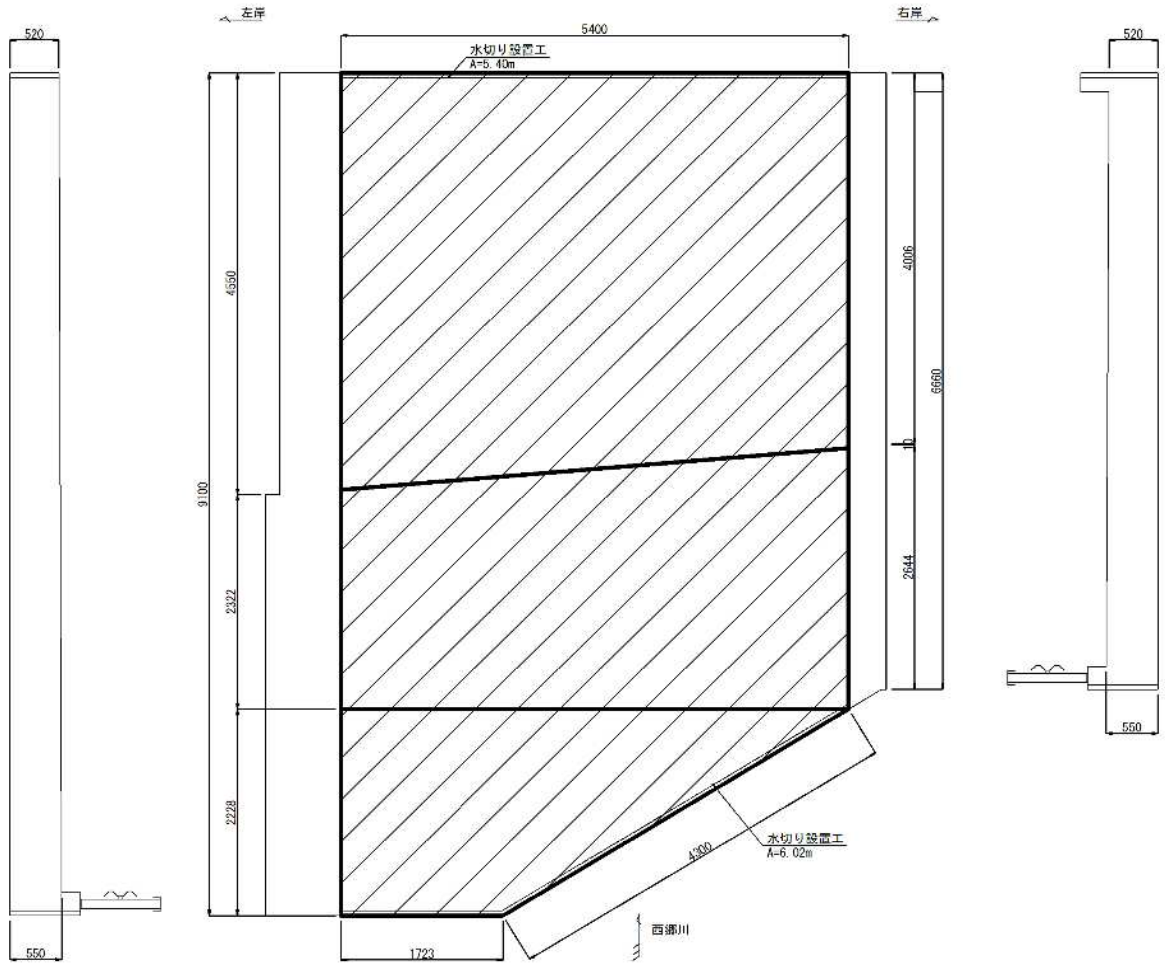
(2) 水切り設置工

上流側	L	＝	4.30	＋	1.723	＝	6.02	m
下流側	L	＝	5.40			＝	5.40	m
						合計	11.42	m

(3) 水切り材

ウォーターカッター同等品　H：20㎜、W：25㎜

上流側	L	＝	4.30	＋	1.723	＝	6.02	m
下流側	L	＝	5.40			＝	5.40	m
						合計	11.42	m

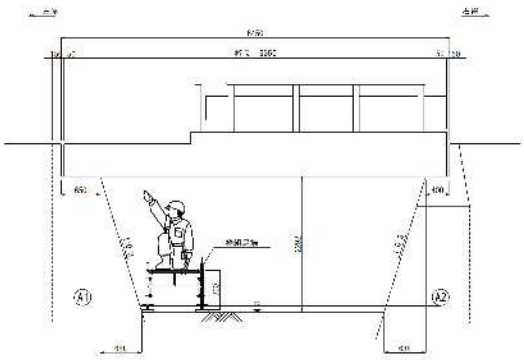


2.7　仮設工

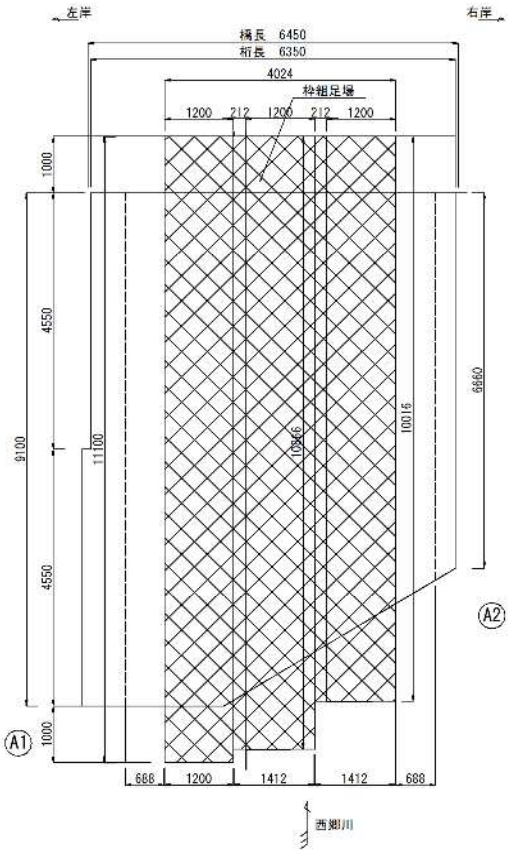
(1) 枠組足場

A　＝　(　11.100　＋　10.866　＋　10.016　)　×　0.7　　＝　22.39　掛m2

側面図



桁下面平面図



※：足場は枠組足場を計画し、作業状況に応じて転用を計画する。

1.補修工数量集計表

大正橋

工　種	種　別	細　別	仕　様		単位	合計	備　考
舗　装 打換え工	コンクリートカッター工		t＝50mm		m	1.96	
	舗装版破砕工		人力		m2	29.41	
	アスファルト舗装工		表層：t＝50mm		m2	29.41	
	薄層遮水性舗装工		スーパーロメンパッチDN同等品		m2	0.00	
橋　面 防水工	橋面防水工		塗膜系/補修		m2	29.41	
	成形目地材		W＝30mm		m	14.66	
	端部処理		シルバーメッシュ同等品		m	13.73	
橋梁 付属物工	伸縮装置設置工		コンクリートカッター工　t＝50mm		m	24.19	
			はつり工		m3	0.026	
			伸縮装置設置工　(SMジョイント同等品)		m	12.84	
			プライマー（1液型ウレタンプライマー）		kg	0.02	
			特殊弾性樹脂（SMシール同等品）		リットル	18.11	
	防護柵塗替塗装工		素地調整工	3種ケレン A	m2	12.64	
			下塗1層目	鉛・クロムフリーさび止めペイント	m2	12.64	0.14kg/m2
			下塗2層目	鉛・クロムフリーさび止めペイント	m2	12.64	0.14kg/m2
			下塗3層目	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	m2	12.64	0.25kg/m2
			中塗	長油性フタル酸樹脂塗料中塗	m2	12.64	0.17kg/m2
			上塗	長油性フタル酸樹脂塗料上塗	m2	12.64	0.15kg/m2
橋梁補修工	ひび割れ補修工 （下部工）	低圧注入工法	施工延長		m	10.15	
			シール材（エポキシ樹脂パテ）		kg	1.55	ロス含まず
			注入材（土木補修用エポキシ樹脂注入材1種）		kg	0.53	ロス含まず
			低圧注入器具		個	34	
		ひび割れ充填工法	施工延長		m	1.05	
			充填材（ポリマーセメントモルタル）		m3	0.001	ロス含まず
	断面修復工	左官工法	ケレン・防錆処理含む		m3	0.061	
			断面修復材（ポリマーセメントモルタル）		m3	0.061	ロス含まず
		高耐候性シール材設置工	高耐候性シール材		m2	0.07	ロス含まず
			プライマー（エポキシ樹脂プライマー）		kg	0.01	ロス含まず
		左官工法	ケレン・防錆処理含まず		m3	0.770	
			断面修復材（ポリマーセメントモルタル）		m3	0.770	ロス含まず
処分工	コンクリート殻処分		舗装打換え工、断面修復工		m3	2.301	5.4(t)

2. 補修工数量

2.1 舗装打換え工

(1) 数量集計表

種　別	仕　様	単位	路面部	合計	備考
コンクリートカッター工	t =50㎜	m	1.96	1.96	
舗装版破砕工	人力	m2	29.41	29.41	
コンクリート殻運搬処理工		m3	1.47	1.47	
アスファルト舗装工	表層 ： t ＝50㎜	m2	29.41	29.41	

(2) 舗装打ち換え工

1) 舗装打換工面積

A1 ＝　4.10　×　6.988　＝　28.65　m2

A2 ＝　1.485　×　1.018　×　1/2　＝　0.76　m2

合計　29.41　m2

2) コンクリートカッター工

t ＝　50㎜

L　＝　1.964　＝　1.96　m

3) 舗装版破砕工

A　＝　29.41　＝　29.41　m2

4) コンクリート殻運搬処理工

t ＝　50　mm（想定）

V　＝　29.41　×　0.05　＝　1.47　m3

5) アスファルト舗装工

t ＝　50　mm（想定）

表層　：　t ＝50㎜　　A　＝　29.41　＝　29.41　m2

V　＝　29.41　×　0.05　＝　1.47　m3

2.3 橋面防水工

(1) 数量集計表

種　別	仕　様	単位	路面部	合計	備考
橋面防水工	塗膜系	m2	29.41	29.41	
導水パイプ	φ18	m	14.66	14.66	
成形目地および端部処理		m	13.73	13.73	

(2)橋面防水工

1) 橋面防水工

塗膜系

A ＝ 29.41　　(舗装打換工に同じ)　　＝ 29.41 m2

2) 導水パイプ

φ18

L ＝ 6.988 ＋ 0.245 × 2　　＝ 7.48 m

L ＝ 5.267 ＋ 1.476 ＋ 0.22 × 2　　＝ 7.18 m

合計 14.66 m

3) 成形目地および端部処理

L ＝ 6.988　　＝ 6.99 m

L ＝ 5.267 ＋ 1.476　　＝ 6.74 m

合計 13.73 m

2.4 伸縮装置設置工

(1) 数量集計表

種　別	仕　様	単位	路面部	合計	備考
コンクリートカッター工	t ＝50㎜	m	24.19	24.19	
はつり工	人力	m3	0.026	0.026	
伸縮装置設置工	SMジョイント同等品	m	12.84	12.84	
プライマー塗布	1液型ウレタン系	kg	0.02	0.02	
特殊弾性樹脂材	SMシール材同等品	リットル	18.11	18.11	

(2) 伸縮装置設置工

1) 伸縮装置設置工

SMジョイント同等品

A1側　　L ＝ 6.800　　＝ 6.80 m

A2側　　L ＝ 5.328 ＋ 0.108 ＋ 0.10 ＋ 0.502　　＝ 6.04 m

合計 12.84 m

2) コンクリートカッター工

A1側　　L ＝ 6.80 ＋ 5.818　　＝ 12.62 m

A2側　　L ＝ (5.328 ＋ 0.108 ＋ 0.1) × 2 ＋ 0.502　　＝ 11.57 m

合計 24.19 m

3) はつり工

目地幅：A1＝45㎜、A2＝35㎜　深さ50㎜

A1側　　V ＝ 6.800 × 0.045 × 0.050　　＝ 0.015 m3

A2側　　V ＝ 6.04 × 0.035 × 0.050　　＝ 0.011 m3

合計 0.026 m3

プライマー

A1側　　L ＝ 6.800 × 0.035　　＝ 0.24 m2

A2側　　L ＝ 6.040 × 0.035　　＝ 0.21 m2

合計 0.45 m2

W ＝ 0.45 × 0.05　　＝ 0.02 kg

特殊弾性シール材

SMシール同等品　　目地幅：A1＝45㎜、A2＝35㎜、目地深さ：35㎜

A1側　　V ＝ 6.800 × 0.045 × 0.035 × 1000　　＝ 10.71 リットル

A2側　　L ＝ 6.040 × 0.035 × 0.035 × 1000　　＝ 7.40 リットル

合計 18.11 リットル

2.5 防護柵塗替工

(1) 集計表

	塗装面積		単位	防護柵			合計
			m2	12.64			12.64
塗替塗装工	素地調整工	3種ケレン A	m2	12.64			12.64
	下塗	鉛・クロムフリーさび止めペイント	m2	12.64			12.64
		0.14kg/m2	kg	1.77			1.77
	下塗	鉛・クロムフリーさび止めペイント	m2	12.64			12.64
		0.14kg/m2	kg	1.77			1.77
	下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	m2	12.64			12.64
		0.25kg/m2	kg	3.16			3.16
	中塗	長油性フタル酸樹脂塗料中塗	m2	12.64			12.64
		0.17kg/m2	kg	1.52			1.52
	上塗	長油性フタル酸樹脂塗料上塗	m2	12.64			12.64
		0.15kg/m2	kg	1.39			1.39

(2) 防護柵塗替工

1) 面積

下流側

ビーム　A1 ＝ 5.00 × 0.44 × 2 ＝ 4.40 m2

支柱　A2 ＝ 0.1143 × π × 0.68 × 4 ＝ 0.98 m2

A3 ＝ 0.057 × 0.057 × π × 4 ＝ 0.04 m2

小計 5.42 m2

上流側

ビーム　A1 ＝ 6.767 × 0.44 × 2 ＝ 5.95 m2

支柱　A2 ＝ 0.1143 × π × 0.68 × 5 ＝ 1.22 m2

A3 ＝ 0.057 × 0.057 × π × 5 ＝ 0.05 m2

小計 7.22 m2

合計　A ＝ 5.42 ＋ 7.22 ＝ 12.64 m2

2) 素地調整工

ビーム表面の全面腐食として、全面積の15%以上が腐食

3種ケレンA

A ＝ 12.64 ＝ 12.64 m2

3) 防護柵塗替工

国土交通省標準積算基準　Ⅳ-3-⑧　道路付属物塗替工より塩化ゴム系

塗装仕様は、鋼道路橋塗装便覧（H2.6）を参考とした。

下塗1層目　鉛・クロムフリーさび止めペイント　0.14 kg/m2

A ＝ 12.64 ＝ 12.64 m2

W ＝ 12.64 × 0.14 ＝ 1.77 kg

下塗2層目　　鉛・クロムフリーさび止めペイント　　0.14　kg/m2

A ＝　12.64　　＝　12.64　m2

W ＝　12.64　×　0.14　　＝　1.77　kg

下塗3層目　　フェノール樹脂MIO塗料　　0.25　kg/m2

A ＝　12.64　　＝　12.64　m2

W ＝　12.64　×　0.25　　＝　3.16　kg

中塗　　塩化ゴム系塗料中塗　　0.17　kg/m2

A ＝　12.64　　＝　12.64　m2

W ＝　12.64　×　0.17　　＝　2.15　kg

上塗　　塩化ゴム系塗料上塗　　0.15　kg/m2

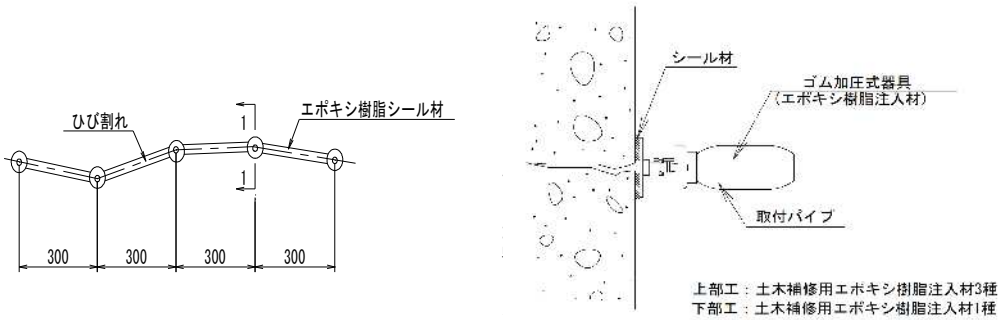
A ＝　12.64　　＝　12.64　m2

W ＝　12.64　×　0.15　　＝　1.90　kg

2.6 ひび割れ補修工

(1) 低圧注入工法

ひび割れ幅　0.2㎜以上～1.0㎜未満



・低圧注入工法集計表

種類	仕様・規格	単位	上部工	下部工	合計
ひび割れ注入工	低圧注入	m	-	10.15	10.15
シール材	エポキシ樹脂	kg	-	1.55	1.55
注入材	エポキシ樹脂1種	kg	-	0.53	0.53
注入器具	―	個	-	34	34

1) 下部工

・ひび割れ延長

L ＝　5.75　＋　4.40　＝　10.15　m

・注入工法

シール材(エポキシ樹脂)　比重：1.70

	幅　厚さ　延長(m)　(kg/m3)	重量(kg)
	0.030　×　0.003　×　10.15　×　1700	1.553
	合　計	1.55

注入材(エポキシ樹脂1種) 比重：1.15　(ひび割れ幅は、平均値を使用する。)

	平均幅　想定深さ　延長(m)　(kg/m3)	重量(kg)
	0.0003　×　0.300　×　10.15　×　1150	0.525
	合　計	0.53

・低圧注入器具　300㎜ピッチ

N ＝　10.15　/　0.3　＝　33.8　＝　34　個

②A1橋台

ひび割れ延長調書

径間	部位	番号	幅(mm)	長さ(m)	×	箇所数	延長(m)
A1橋台	竪壁	1	0.30	2.35	×	1	2.35
	竪壁	2	0.30	0.20	×	1	0.20
	竪壁	3	0.35	0.40	×	1	0.40
	竪壁	4	0.35	0.15	×	1	0.15
	竪壁	5	0.35	1.10	×	1	1.10
	竪壁	6	0.30	0.20	×	1	0.20
	竪壁	7	0.50	0.35	×	1	0.35
	竪壁	8	0.50	0.35	×	1	0.35
	竪壁	9	0.50	0.40	×	1	0.40
	竪壁	10	0.55	0.15	×	1	0.15
	竪壁	11	0.40	0.10	×	1	0.10
	小計						5.75

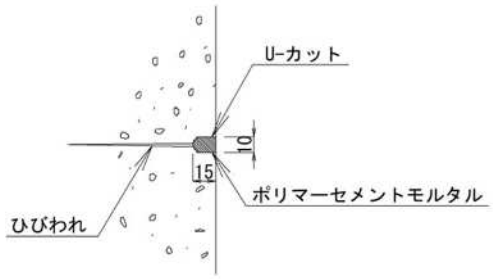
②A2橋台

ひび割れ延長調書

径間	部位	番号	幅(mm)	長さ(m)	×	箇所数	延長(m)
A2橋台	竪壁	1	0.20	0.20	×	1	0.20
	竪壁	2	0.25	2.80	×	1	2.80
	竪壁	3	0.30	0.25	×	1	0.25
	竪壁	4	0.35	1.15	×	1	1.15
	小計						4.40

(2)Uカット充填工法

ひび割れ幅　0.2mm以上～1.0mm未満



上部工：可とう性エポキシ樹脂
下部工：ポリマーセメントモルタル

・Uカット充填工法集計表

種類	仕様・規格	単位	上部工	下部工	合計
ひび割れ補修工	充填工法	m	-	1.05	1.05
充填材	ポリマーセメントモルタル	m3	-	0.001	0.001

1) 下部工

・ひび割れ延長

L ＝ 0.15 ＋ 0.90 ＝ 1.05 m

充填材(ポリマーセメントモルタル

	計算式	重量(m3)
	(0.01 × 0.01 ＋ 0.005 × 0.005 × 3.14 × 1/2)	
	× 1.05	0.001
	延長	
合　計		0.001

①A1橋台

ひび割れ延長調書

径間	部位	番号	幅(mm)	長さ(m) × 箇所数	延長(m)
A1橋台	竪壁	1	-	0.15 × 1	0.15
	小計				0.15

②A2橋台

ひび割れ延長調書

径間	部位	番号	幅(mm)	長さ(m) × 箇所数	延長(m)
A2橋台	竪壁	1	-	0.15 × 1	0.15
	竪壁	2	-	0.75 × 1	0.75
	小計				0.90

2.7 断面修復工

2.7.1　左官工法（ケレン・防錆処理含む）

（1）断面修復工　左官工法　集計表

種類	仕様・規格	単位	上部工	下部工	合計	備考
はつり工	人力	m3	0.001	0.060	0.061	
断面修復工	左官工	m3	0.001	0.060	0.061	
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m3	0.001	0.060	0.061	
高耐候性シート設置	ラックタッチ同等品	m2	0.070	-	0.070	
	プライマー塗布	m2	0.010	-	0.010	

（2）断面修復集計表（上部工）

径間	はつり面積 (m2)	体積 (m3)
主桁下面	0.018	0.001
合計	0.018	0.001

1）はつり工

V　＝　（2）断面修復集計表：体積より　＝　0.001 m3

2）断面修復工（左官工法）

V　＝　（2）断面修復集計表：体積より　＝　0.001 m3

3)断面修復材

ポリマーセメントモルタル断面修復材

V　＝　0.001　＝　0.001 m3

4）高耐候性シート設置工

ラックタッチ同等品

A　＝　0.065　＝　0.07 m2

5）プライマー塗布工

塗布量　0.2 kg/m2

A　＝　0.000　＝　0.00 m2

W　＝　0.070　×　0.2　＝　0.01 kg

①主桁下面

種　類	部　位	番号	幅 (m)		長さ (m)		想定深さ (m)		箇所数	ｶｯﾀｰ工 (m)	面積 (m2)	体積 (m3)
鉄筋露出	主桁下面	1	0.05	×	0.10	×	0.010	×	1		0.005	0.00005
鉄筋露出	主桁下面	2	0.02	×	0.10	×	0.010	×	1		0.002	0.00002
鉄筋露出	主桁下面	3	0.05	×	0.05	×	0.010	×	1		0.003	0.00003
鉄筋露出	主桁下面	4	0.02	×	0.05	×	0.010	×	1		0.001	0.00001
鉄筋露出	主桁下面	5	0.02	×	0.05	×	0.010	×	1		0.001	0.00001
鉄筋露出	主桁下面	6	0.02	×	0.15	×	0.010	×	1		0.003	0.00003
鉄筋露出	主桁下面	7	0.02	×	0.05	×	0.010	×	1		0.001	0.00001
鉄筋露出	主桁下面	8	0.02	×	0.05	×	0.010	×	1		0.001	0.00001
鉄筋露出	主桁下面	9	0.02	×	0.05	×	0.010	×	1		0.001	0.00001
合　計										0.000	0.018	0.001

①-2　　主桁下面（高耐候性シート設置）

種　類	部　位	番号	幅 (m)		長さ (m)	箇所数	面積 (m2)	備考
鉄筋露出	主桁下面	1	0.09	×	0.14	1	0.013	
鉄筋露出	主桁下面	2	0.06	×	0.14	1	0.008	
鉄筋露出	主桁下面	3	0.09	×	0.09	1	0.008	
鉄筋露出	主桁下面	4	0.06	×	0.09	1	0.005	
鉄筋露出	主桁下面	5	0.06	×	0.09	1	0.005	
鉄筋露出	主桁下面	6	0.06	×	0.19	1	0.011	
鉄筋露出	主桁下面	7	0.06	×	0.09	1	0.005	
鉄筋露出	主桁下面	8	0.06	×	0.09	1	0.005	
鉄筋露出	主桁下面	9	0.06	×	0.09	1	0.005	
合　計							0.065	

(3) 断面修復集計表（下部工）

径間	はつり面積 (m2)	体積 (m3)
A1橋台	1.175	0.059
A2橋台	0.003	0.001
合計	1.178	0.060

1) はつり工

V ＝ (3) 断面修復集計表：体積より ＝ 0.060 m3

2) 断面修復工（左官工法）

V ＝ (3) 断面修復集計表：体積より ＝ 0.060 m3

3)断面修復材

ポリマーセメントモルタル断面修復材

V ＝ 0.060 ＝ 0.060 m3

①A1橋台

修復数量表

種 類	径 間	部 位	番号	幅 (m)		長さ (m)		想定深さ (m)		箇所数	ｶｯﾀｰ工 (m)	面積 (m2)	体積 (m3)
剥離	A1橋台	胸壁	1	0.05	×	0.10	×	0.050	×	1	0.300	0.005	0.0003
鉄筋露出		梁側面	2	1.05	×	1.10	×	0.050	×	1	4.300	1.155	0.0578
うき		梁側面	3	0.05	×	0.30	×	0.050	×	1	0.700	0.015	0.0008
合 計											5.300	1.175	0.059

②A2橋台

修復数量表

種 類	径 間	部 位	番号	幅 (m)		長さ (m)		想定深さ (m)		箇所数	ｶｯﾀｰ工 (m)	面積 (m2)	体積 (m3)
鉄筋露出	A2橋台	竪壁	1	0.05	×	0.05	×	0.050	×	1	0.200	0.003	0.0001
合 計											0.200	0.003	0.001

2.7.2　左官工法（ケレン・防錆処理含まず）

（1）断面修復工　左官工法　集計表

種類	仕様・規格	単位	上部工	下部工	合計	備考
はつり工	人力	m3	0.003	0.767	0.770	
断面修復工	左官工	m3	0.003	0.767	0.770	
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m3	0.003	0.767	0.770	

（2）断面修復集計表（上部工）

径間	はつり面積 (m2)	体積 (m3)
橋面	0.053	0.003
合計	0.053	0.003

1）はつり工

V　＝　（2）断面修復集計表：体積より　＝　0.003 m3

2）断面修復工（左官工法）

V　＝　（2）断面修復集計表：体積より　＝　0.003 m3

3)断面修復材

ポリマーセメントモルタル断面修復材

V　＝　0.003　＝　0.003 m3

①橋面

種　類	部　位	番号	幅 (m)	長さ (m)	想定深さ (m)	箇所数	ｶｯﾀｰ工 (m)	面積 (m2)	体積 (m3)
鉄筋露出	橋面	1	0.15	× 0.35	× 0.050	× 1		0.053	0.003
合　計							0.000	0.053	0.003

(3) 断面修復集計表（下部工）

径間	はつり面積 (m2)	体積 (m3)
A1橋台	6.432	0.528
A2橋台	2.984	0.239
合計	9.416	0.767

1) はつり工

V ＝ (3) 断面修復集計表：体積より ＝ 0.767 m3

2) 断面修復工（左官工法）

V ＝ (3) 断面修復集計表：体積より ＝ 0.767 m3

3)断面修復材

ポリマーセメントモルタル断面修復材

V ＝ 0.767 ＝ 0.767 m3

①A1橋台

修復数量表

種 類	径 間	部 位	番号	幅 (m)		長さ (m)		想定深さ (m)		箇所数	ｶｯﾀｰ工 (m)	面積 (m2)	体積 (m3)
はく離	A1橋台	上流側側面	1	0.07	×	1.10	×	0.100	×	1	2.340	0.077	0.0077
はく離		梁側面	2	5.75	×	1.00	×	0.080	×	1	13.500	5.750	0.4600
はく離		梁側面	3	0.55	×	1.10	×	0.100	×	1	3.300	0.605	0.0605
合 計											19.140	6.432	0.528

②A2橋台

修復数量表

種 類	径 間	部 位	番号	幅 (m)		長さ (m)		想定深さ (m)		箇所数	ｶｯﾀｰ工 (m)	面積 (m2)	体積 (m3)
はく離	A2橋台	竪壁	1	4.10	×	0.65	×	0.080	×	1	9.500	2.665	0.2132
はく離		竪壁	2	0.75	×	0.15	×	0.080	×	1	1.800	0.113	0.0090
はく離		竪壁	3	0.25	×	0.10	×	0.080	×	1	0.700	0.025	0.0020
はく離		竪壁	4	0.55	×	0.15	×	0.080	×	1	1.400	0.083	0.0066
はく離		竪壁	5	0.65	×	0.15	×	0.080	×	1	1.600	0.098	0.0078
合 計											15.000	2.984	0.239

設計図

施工年度　　令和7年度

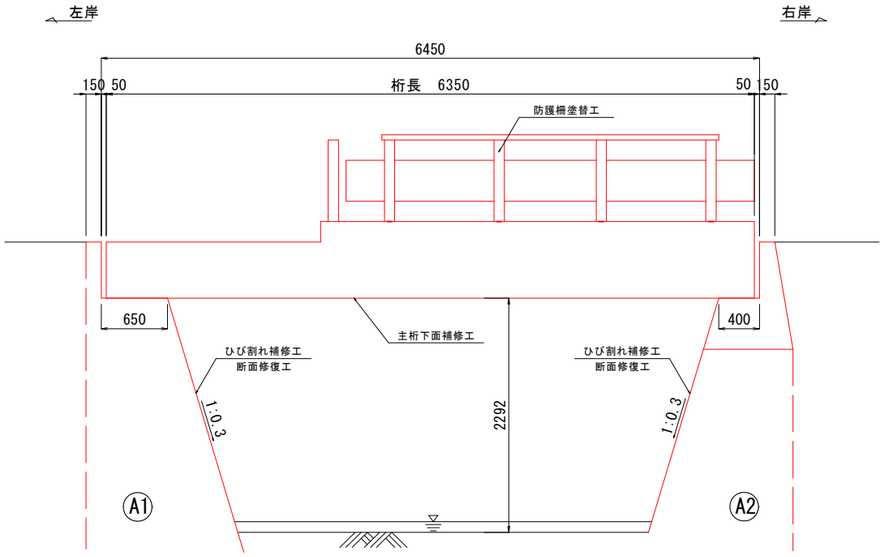
工事名　　橋梁修繕工事（御旅橋ほか）

工事場所　　豊田郡大崎上島町明石

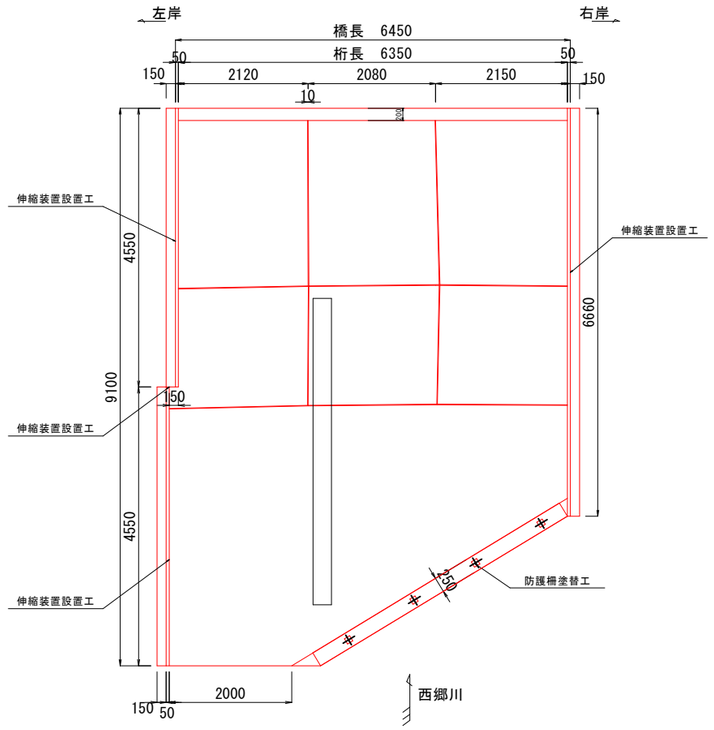
当　初

御旅橋　補修一般図 S=1/50

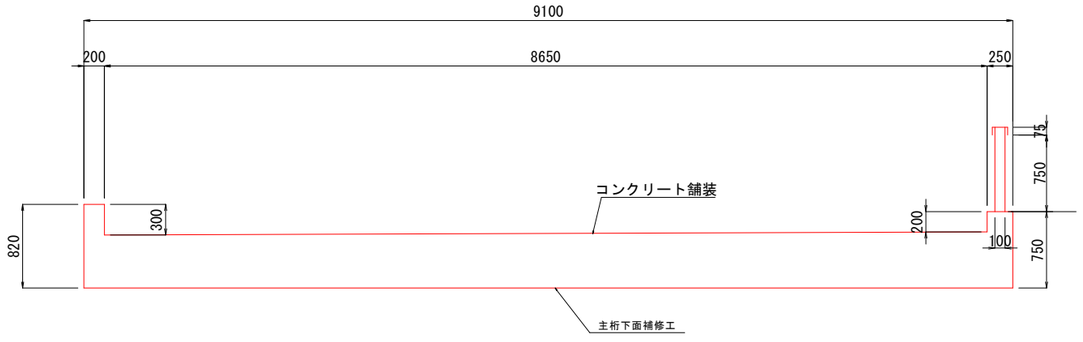
側面図 S=1/30



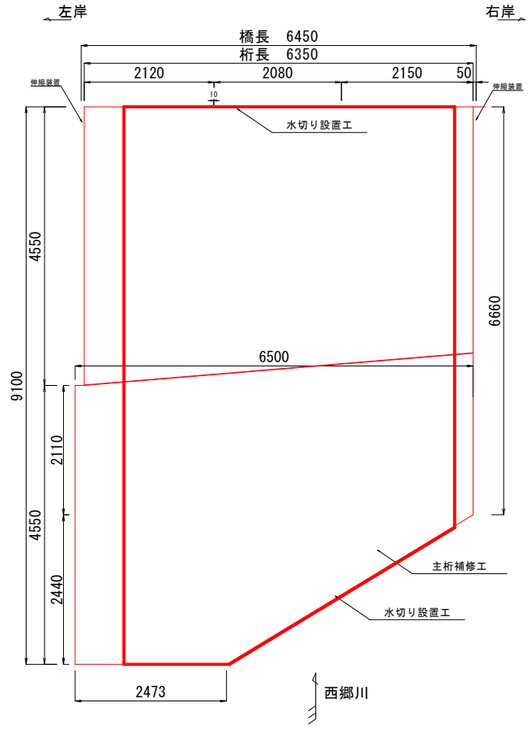
橋面平面図



断面図



桁下面平面図

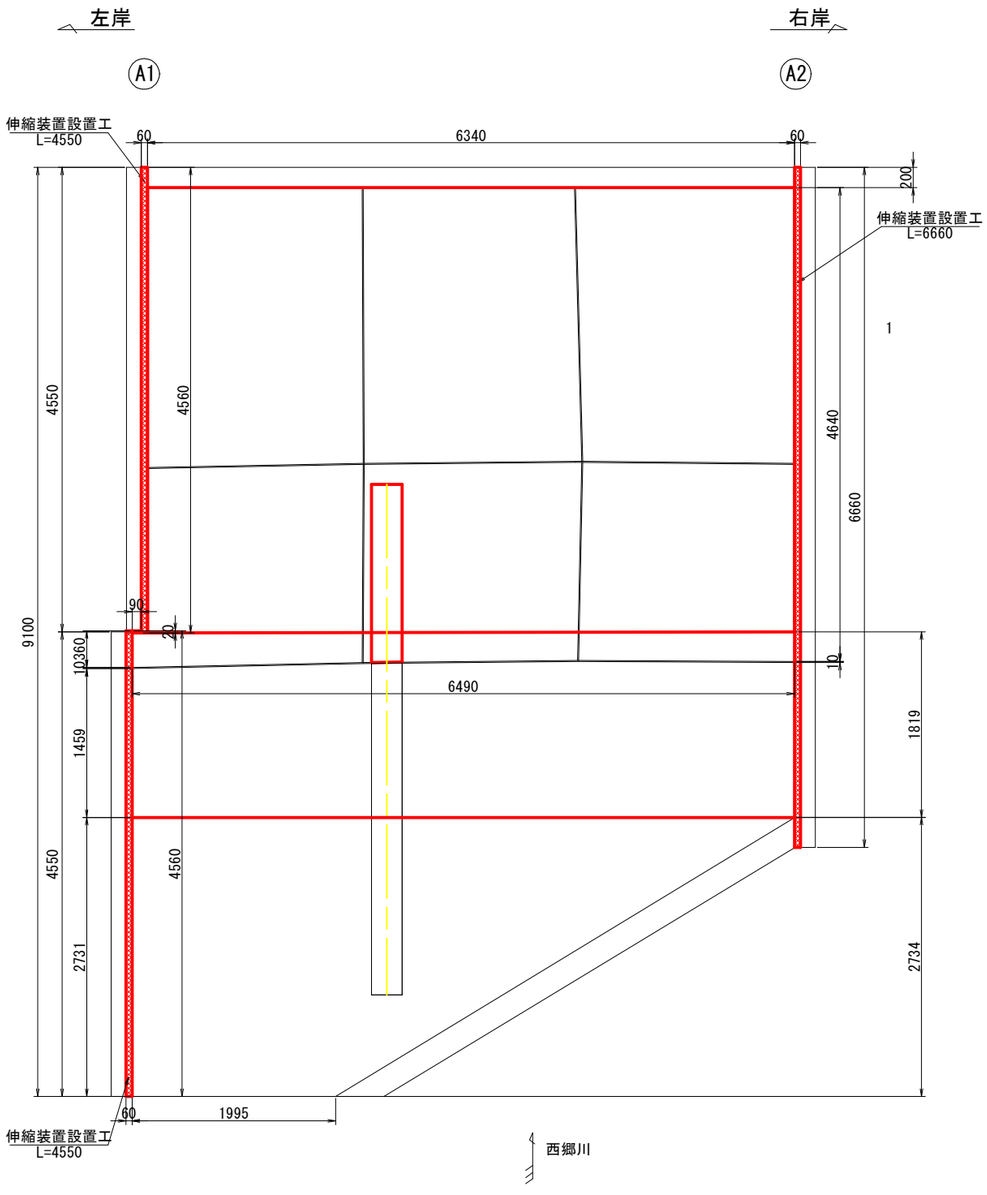


工事名	令和5年度大崎上島町橋梁補修設計業務		
図面名	御旅橋　補修一般図		
作成年月日	令和5年　11月		
縮尺	図示	図面番号	1 / 8
会社名	株式会社　荒谷建設コンサルタント		
事業者名	大崎上島町		

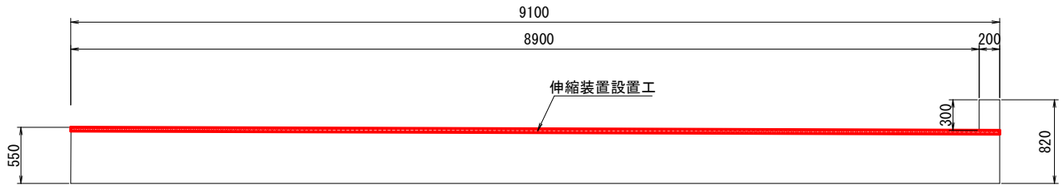
御旅橋　補修図（その１）S=1/30

（伸縮装置設置工）

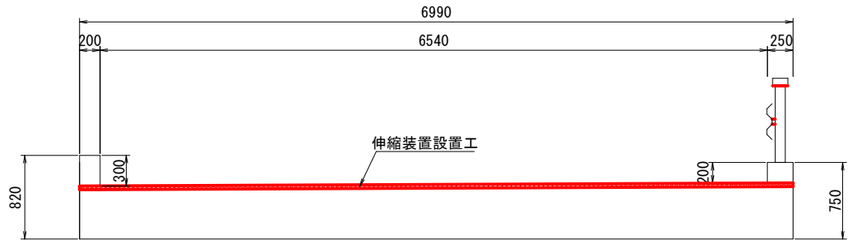
平面図



A1断面図

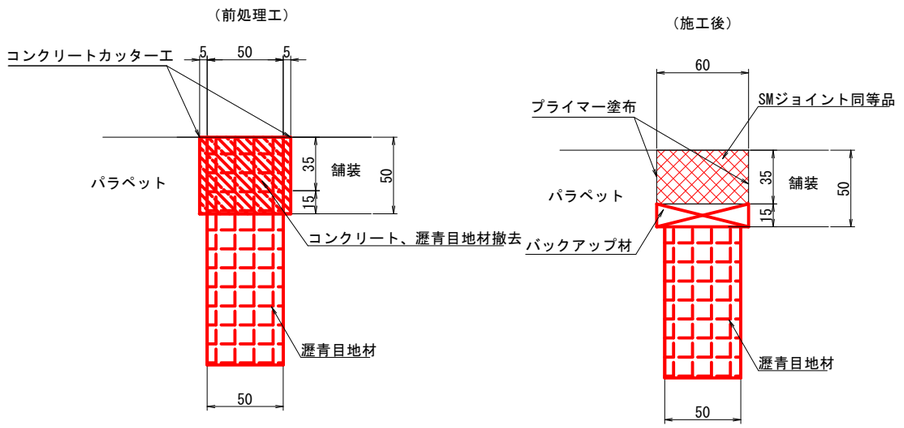


A2断面図



伸縮装置設置工 S=1/2

SMジョイント同等品



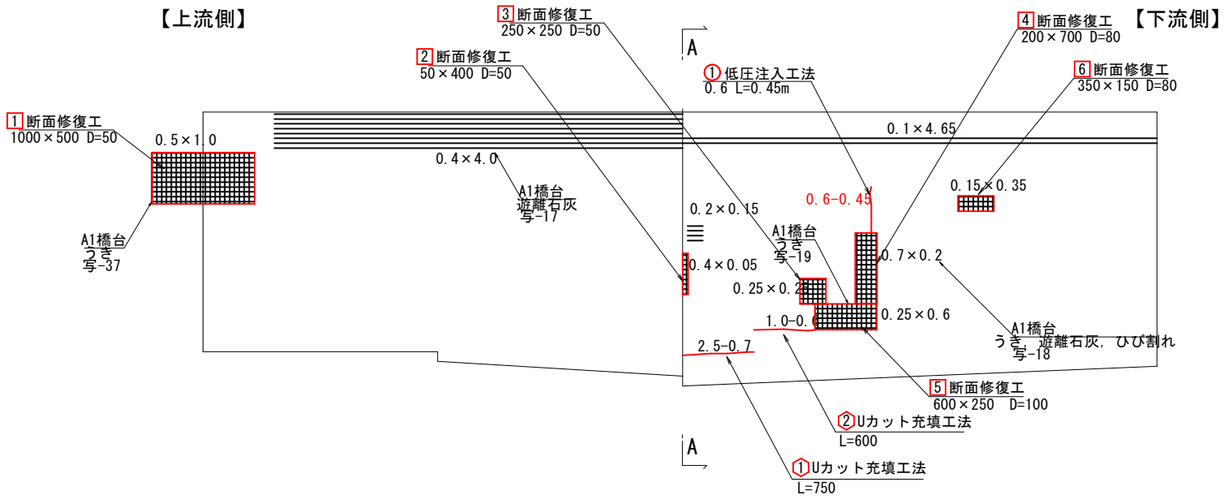
工事名	令和5年度大崎上島町橋梁補修設計業務		
図面名	御旅橋　補修図（その１）		
作成年月日	令和5年　11月		
縮尺	図示	図面番号	2 / 8
会社名	株式会社　荒谷建設コンサルタント		
事業者名	大崎上島町		

御旅橋　補修図（その２）

（ひび割れ補修工、断面修復工）S=1/30

A1橋台

正面図



下部工(A1橋台)
【ひび割れ注入工法】

番号	幅 (mm)	長さ (m)	箇所	小計 (m)	備　考
①	0.60	0.45	1	0.45	
合　計				0.45	

下部工(A1橋台)
【ひび割れ充填工法】

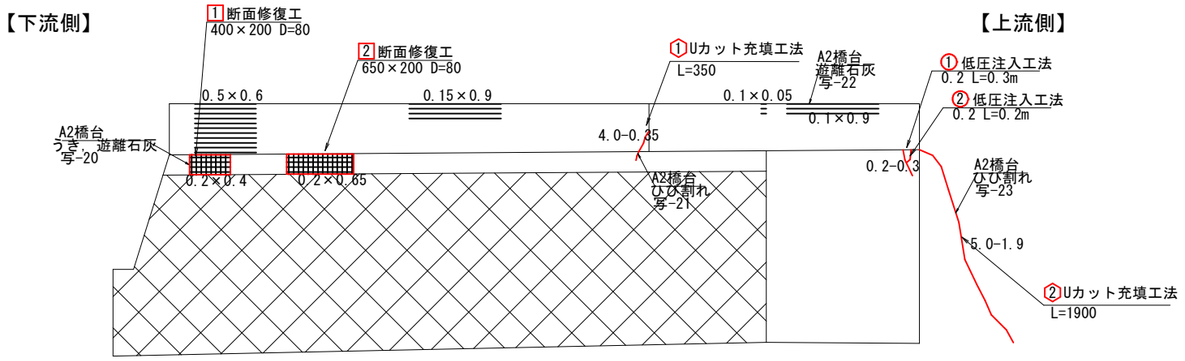
番号	幅 (mm)	長さ (m)	箇所	小計 (m)	備　考
①	2.5	0.60	1	0.60	
②	1.0	0.75	1	0.75	
合　計				1.35	

【断面修復工（左官工法：ケレン・防錆処理含まず）】

番号	寸法(m) 幅 x 長さ x 深さ	箇所	面積 (m2)	体積 (m3)	備　考
1	1.00 x 0.50 x 0.050	1	0.500	0.0250	
2	0.05 x 0.40 x 0.050	1	0.020	0.0010	
3	0.25 x 0.25 x 0.050	1	0.063	0.0031	
4	0.20 x 0.70 x 0.080	1	0.140	0.0112	
5	0.60 x 0.20 x 0.100	1	0.150	0.0150	
6	0.35 x 0.15 x 0.080	1	0.053	0.0042	
合　計			0.93	0.060	

A2橋台

正面図



下部工(A2橋台)
【ひび割れ注入工法】

番号	幅 (mm)	長さ (m)	箇所	小計 (m)	備　考
①	0.20	0.30	1	0.30	
②	0.20	0.20	1	0.20	
合　計				0.50	

下部工(A2橋台)
【ひび割れ充填工法】

番号	幅 (mm)	長さ (m)	箇所	小計 (m)	備　考
①	—	0.35	1	0.35	
②	—	1.90	1	1.90	
合　計				2.25	

【断面修復工（左官工法：ケレン・防錆処理含む）】

番号	寸法(m) 幅 x 長さ x 深さ	箇所	面積 (m2)	体積 (m3)	備　考
1	0.40 x 0.20 x 0.080	1	0.080	0.0064	
2	0.65 x 0.20 x 0.080	1	0.130	0.0104	
合　計			0.210	0.017	

凡例

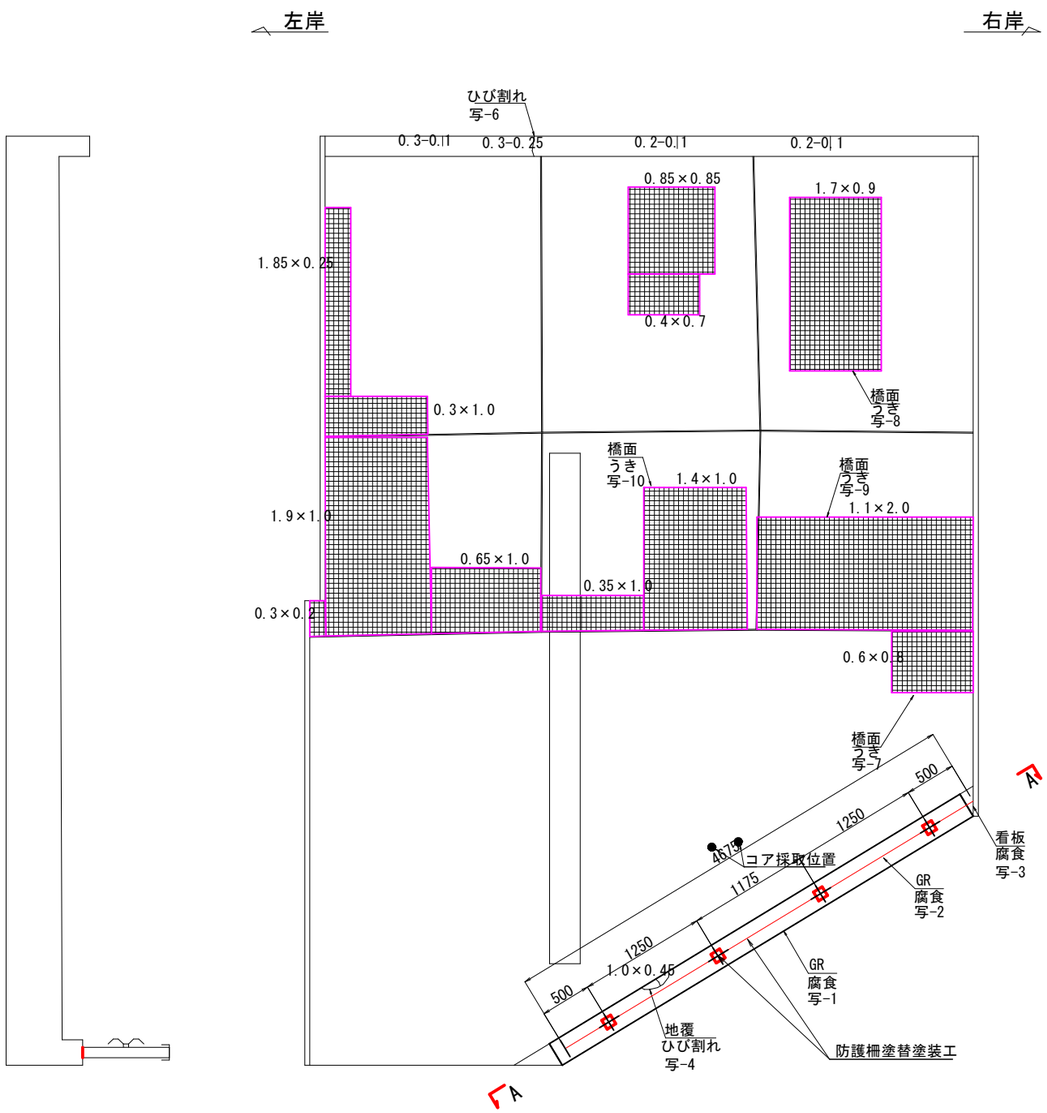
番号	補 修 内 容
○	ひび割れ補修工（低圧注入工法）
⬡	ひび割れ補修工（Uカット充填工法）
□	断面修復工（左官工法）

工事名	令和5年度大崎上島町橋梁補修設計業務		
図面名	御旅橋　補修図（その２）		
作成年月日	令和5年　11月		
縮尺	図示	図面番号	3 / 8
会社名	株式会社　荒谷建設コンサルタント		
事業者名	大崎上島町		

御旅橋 補修図（その３） S=1/30

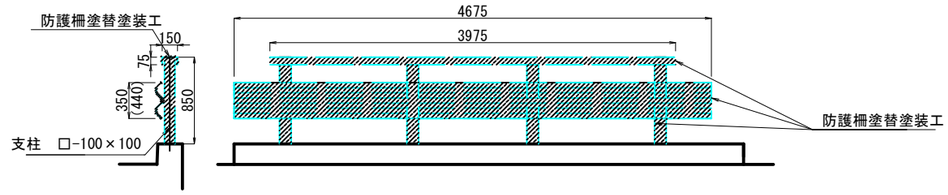
（防護柵塗替塗装工）

橋面



防護柵塗替塗装工詳細図

A-A断面



塗替塗装工仕様（防護柵）
付属物塗替工（塩ゴム系）

塗装工程	塗　料　名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	3種ケレンA		4時間以内
中　塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上　塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	150	

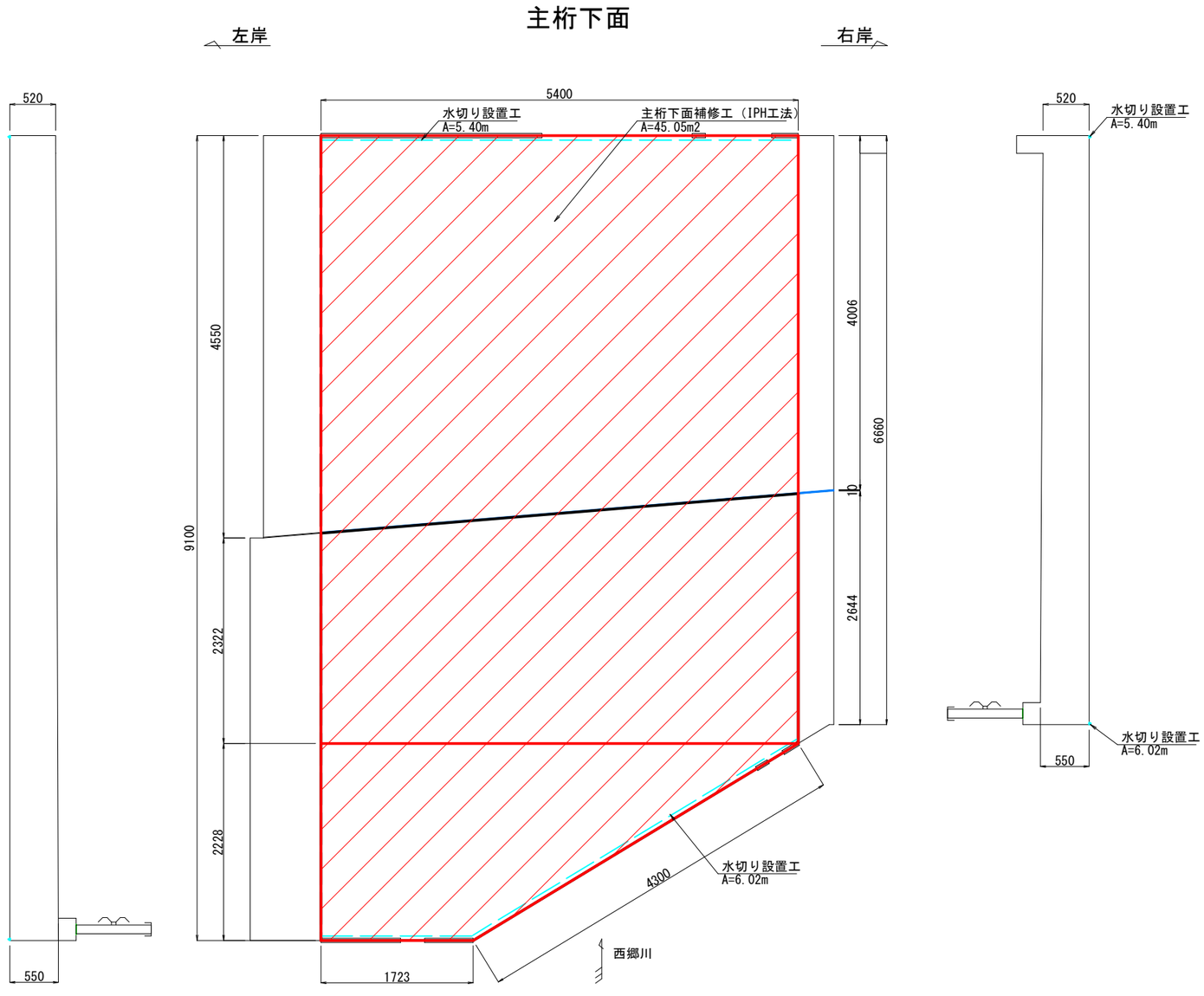
※：国土交通省標準積算基準書　IV-3-8　道路付属物付属物塗替工の記載内容に準拠した。塗装間隔はメーカーカタログを参考とし、一般的環境での塗装間隔を示した。施工に当たっては使用する材料の説明書にしたがうこと。

塗替塗装工　フロー図

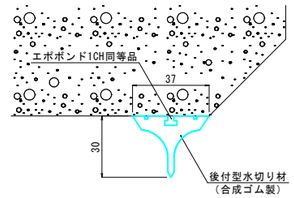
工事名	令和5年度大崎上島町橋梁補修設計業務
図面名	御旅橋　補修図（その３）
作成年月日	令和5年　11月
縮尺	S=1:30　図面番号　4 / 8
会社名	株式会社　荒谷建設コンサルタント
事業者名	大崎上島町

御旅橋 補修図（その４） S=1/30

（水切り設置工）



水切り設置工要領図



※ 水切り設置面のコンクリートは，不陸のないよう調整を行うこと。

※ 水切り材設置に先立って，断面修復を行うこと。

水切り設置工 施工フロー

前　工　程

⇩

下地処理

⇩

（不陸調整・断面修復）

⇩

水切り材への接着剤塗布

⇩

水切り材設置

⇩

後　工　程

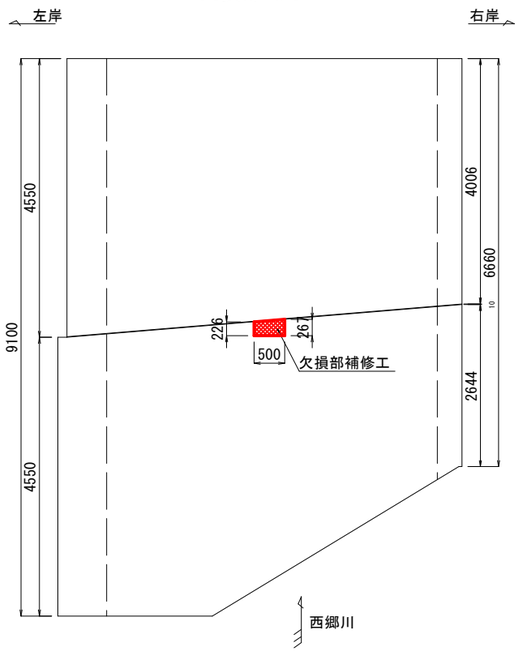
工事名	令和5年度大崎上島町橋梁補修設計業務		
図面名	御旅橋　補修図（その４）		
作成年月日	令和5年　11月		
縮尺	S=1:30	図面番号	5 / 8
会社名	株式会社　荒谷建設コンサルタント		
事業者名	大崎上島町		

御旅橋　補修図（その５）S=1/50

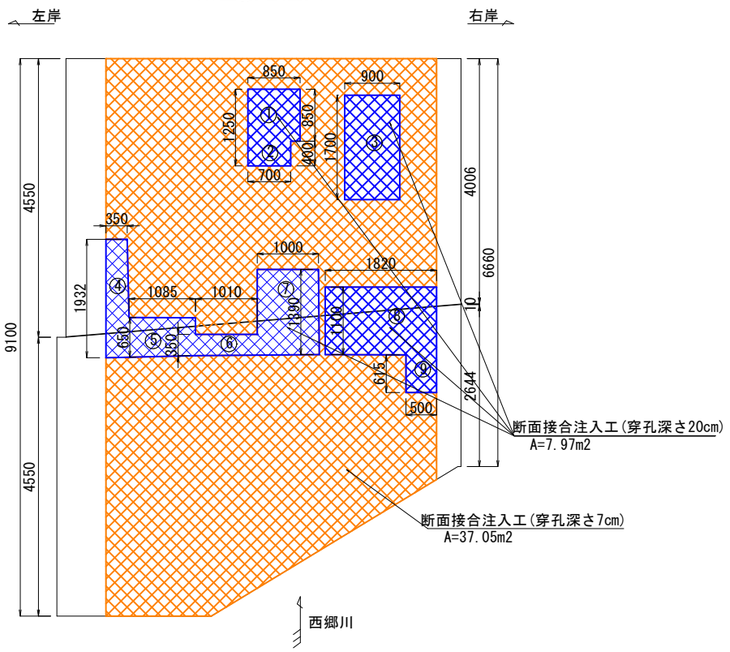
主桁下面補修工（IPH工法同等品：断面接合注入工、欠損部補修工）

主桁下面平面図

欠損部補修工

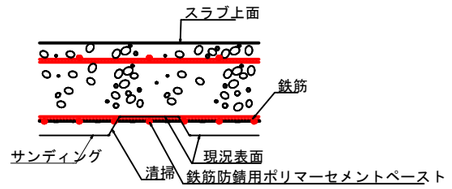


断面接合注入工

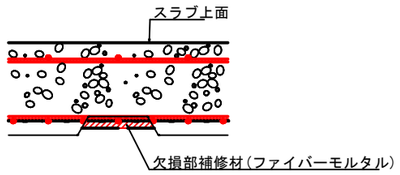


主桁下面補修工
（IPH工法同等品）

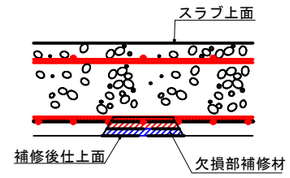
1. サンディング・清掃・鉄筋防錆



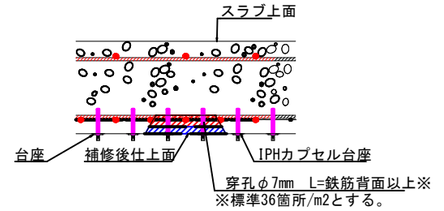
2. 欠損部補修工(主桁下面)
2-1)第1回欠損部補修材打設 30mm以下
左官ゴテで下擦りしながら所定の厚さを塗り付け、終了後ハケ引きを行い目荒らしをする。



2-2)第2回欠損部補修材打設 30mm以下
1回目と同様の作業を行う。

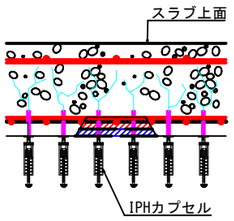


3. 穿孔・IPHカプセル台座取付け
4. 樹脂漏れ防止

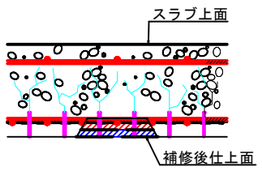


※ 橋面のコンクリート舗装うき部：削孔長 200mm
それ以外の箇所　　：削孔長 70mm

5. 樹脂注入
IPHミクロカプセル台座にIPHカプセルを取付け注入する。その後、注入樹脂硬化まで加圧養生する。



6. IPHカプセル及び台座撤去・清掃



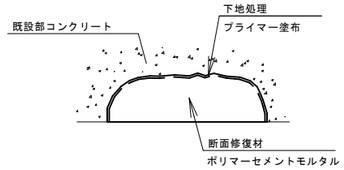
工事名	令和5年度大崎上島町橋梁補修設計業務		
図面名	大正橋　補修図（その５）		
作成年月日	令和5年　11月		
縮尺	S=1:50	図面番号	6 / 8
会社名	株式会社　荒谷建設コンサルタント		
事業者名	大崎上島町		

御旅橋 施工要領図　S=non

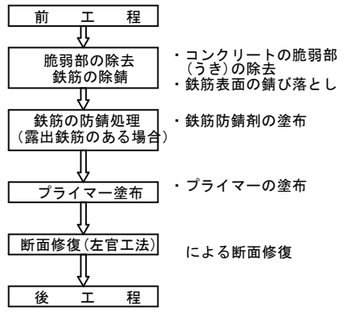
施工要領図（主桁補修工を除く）

断面修復工詳細図　S=NON

断 面 修 復 工
（ケレン・防錆処理含まず）



断面修復工（I） 施工フロー

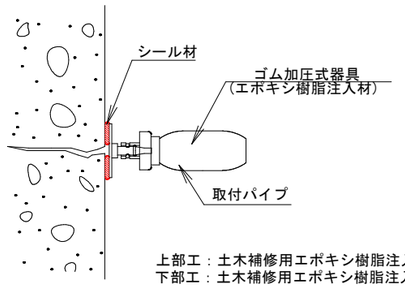


※　脆弱部の厚さは図面にて確認のこと。
※　RC構造物は鉄筋までハツリ出しすること。
※　鉄筋腐食が確認された際は、鉄筋の裏側まではつり防錆処理を施すこと。

ひび割れ補修工詳細図　S=NON

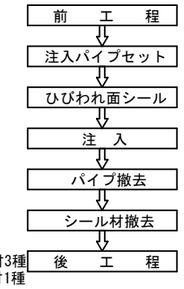
低圧注入工法

（ひび割れ幅1mm未満）



上部工：土木補修用エポキシ樹脂注入材3種
下部工：土木補修用エポキシ樹脂注入材1種

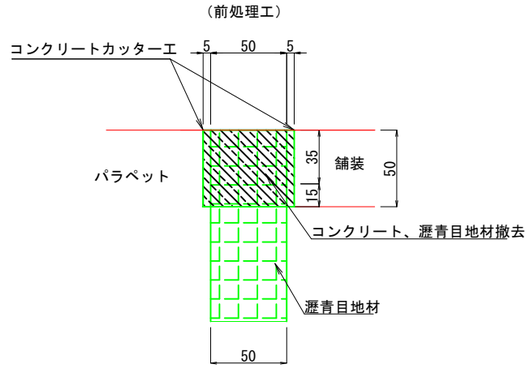
低圧注入工法 施工フロー



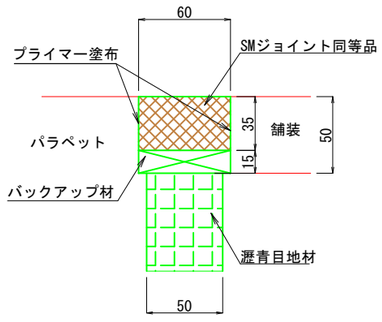
※　注入パイプは300mmピッチとする。
※　注入材は上部工と下部工で異なるため注意すること。

伸縮装置設置工詳細図

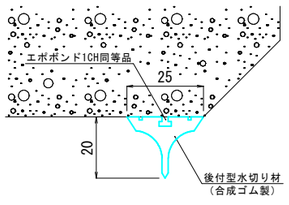
（SMジョイント同等品）



（施工後）

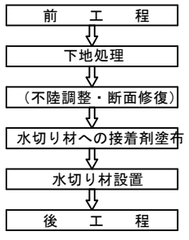


水切り設置工要領図　S=non



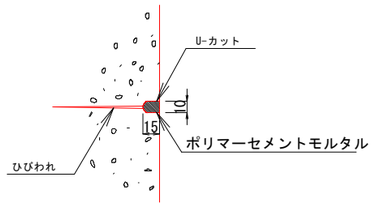
※　水切り設置面のコンクリートは，不陸のないよう調整を行うこと。
※　水切り材設置に先立って，断面修復を行うこと。

水切り設置工 施工フロー



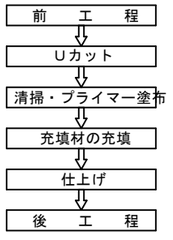
ひび割れ補修工　S=NON

Uカット充填工法



上部工：可とう性エポキシ樹脂
下部工：ポリマーセメントモルタル

ひび割れ充填工法 施工フロー

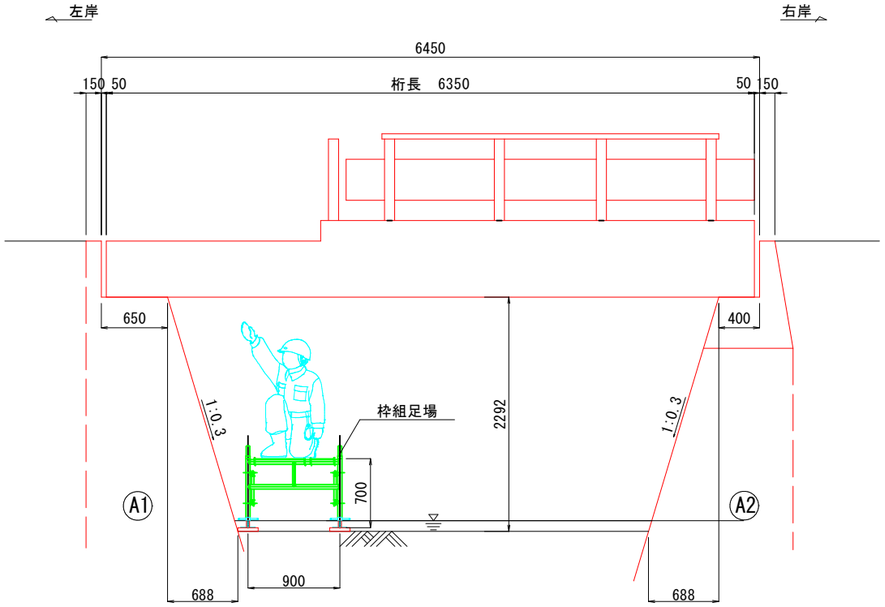


※　充填材は上部工と下部工で異なるため注意すること。
※　プライマーは充填材に適したものを必要に応じて使用すること。

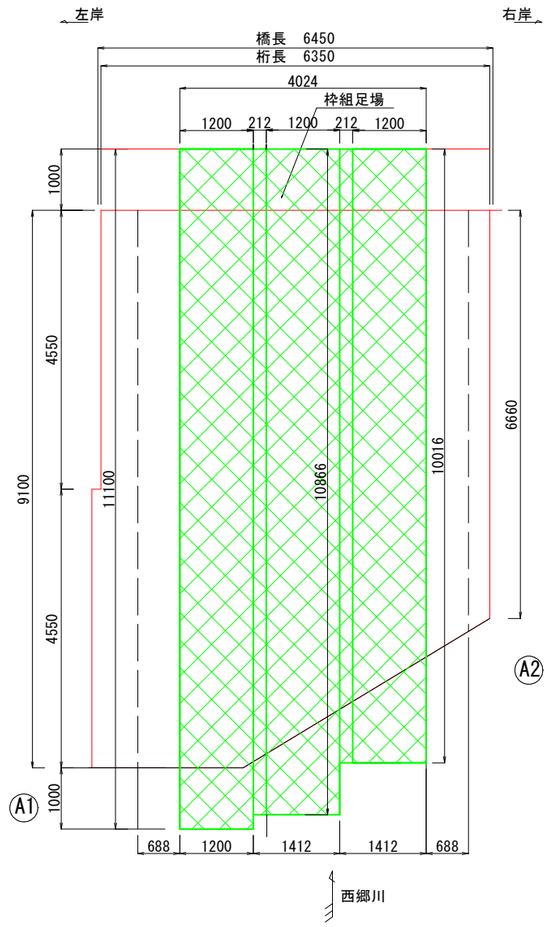
工事名	令和5年度大崎上島町橋梁補修設計業務		
図面名	御旅橋　施工要領図		
作成年月日	令和5年　11月		
縮尺	なし	図面番号	7 / 8
会社名	株式会社　荒谷建設コンサルタント		
事業者名	大崎上島町		

御旅橋　仮設参考図S=1/50

側面図 S=1/30

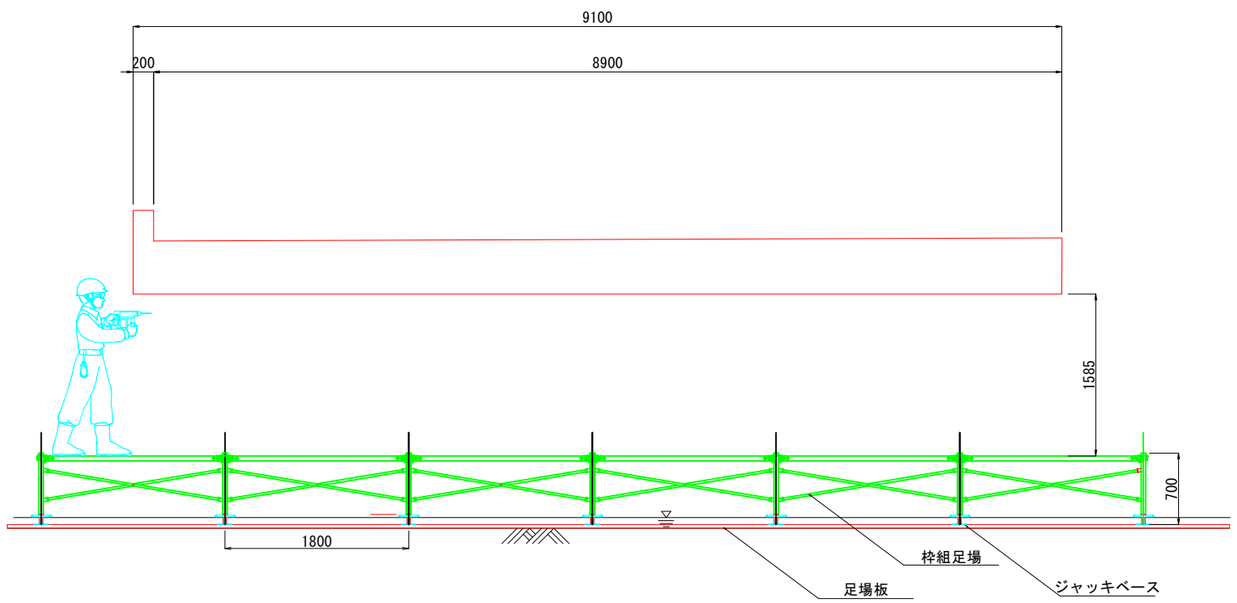


桁下面平面図



※：足場は枠組足場を計画し、作業状況に応じて転用を計画する。

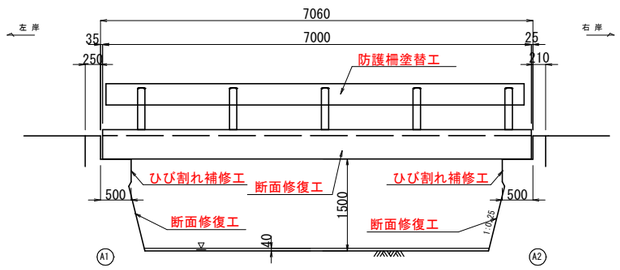
断面図



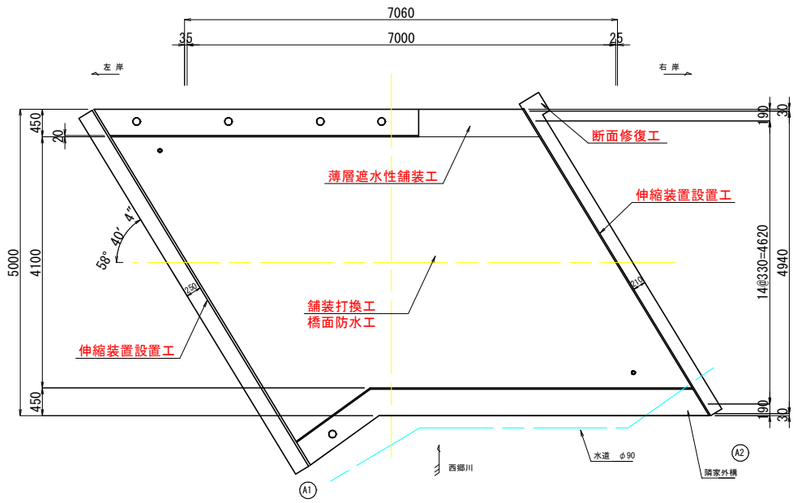
工事名	令和5年度大崎上島町橋梁補修設計業務		
図面名	御旅橋　仮設参考図		
作成年月日	令和5年　11月		
縮尺	S=1:50	図面番号	8 / 8
会社名	株式会社　荒谷建設コンサルタント		
事業者名	大崎上島町		

大正橋　補修一般図 S=1/50

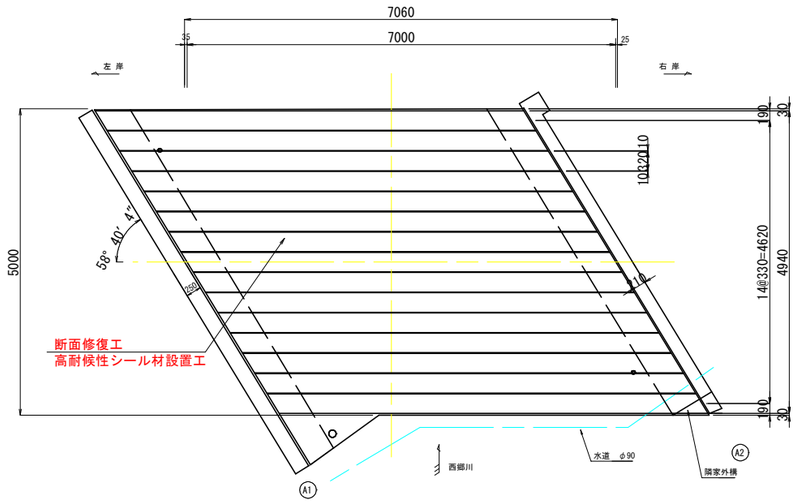
側　面　図



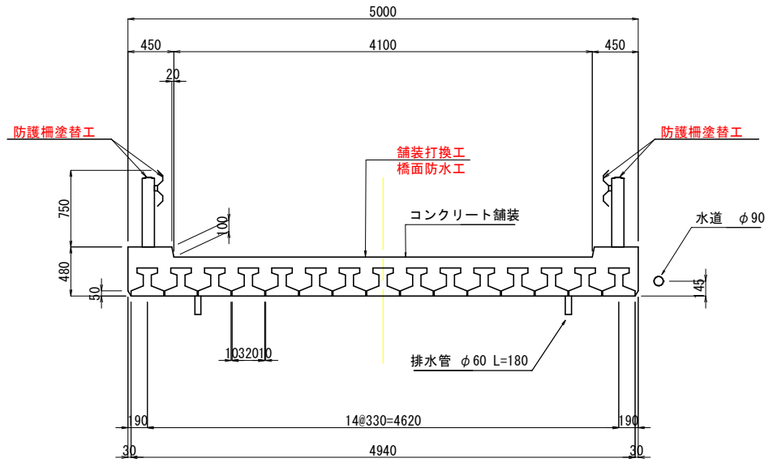
平　面　図



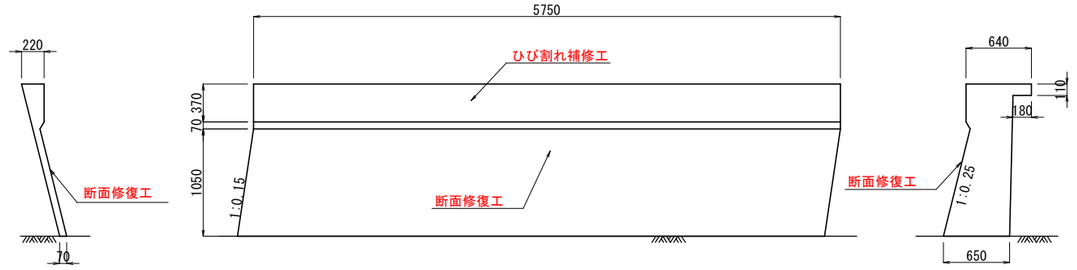
平　面　図



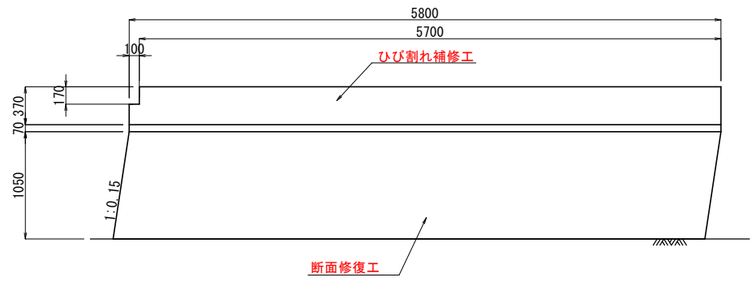
断　面　図 S=1/30



A1 橋　台 S=1/30



A2 橋　台 S=1/30

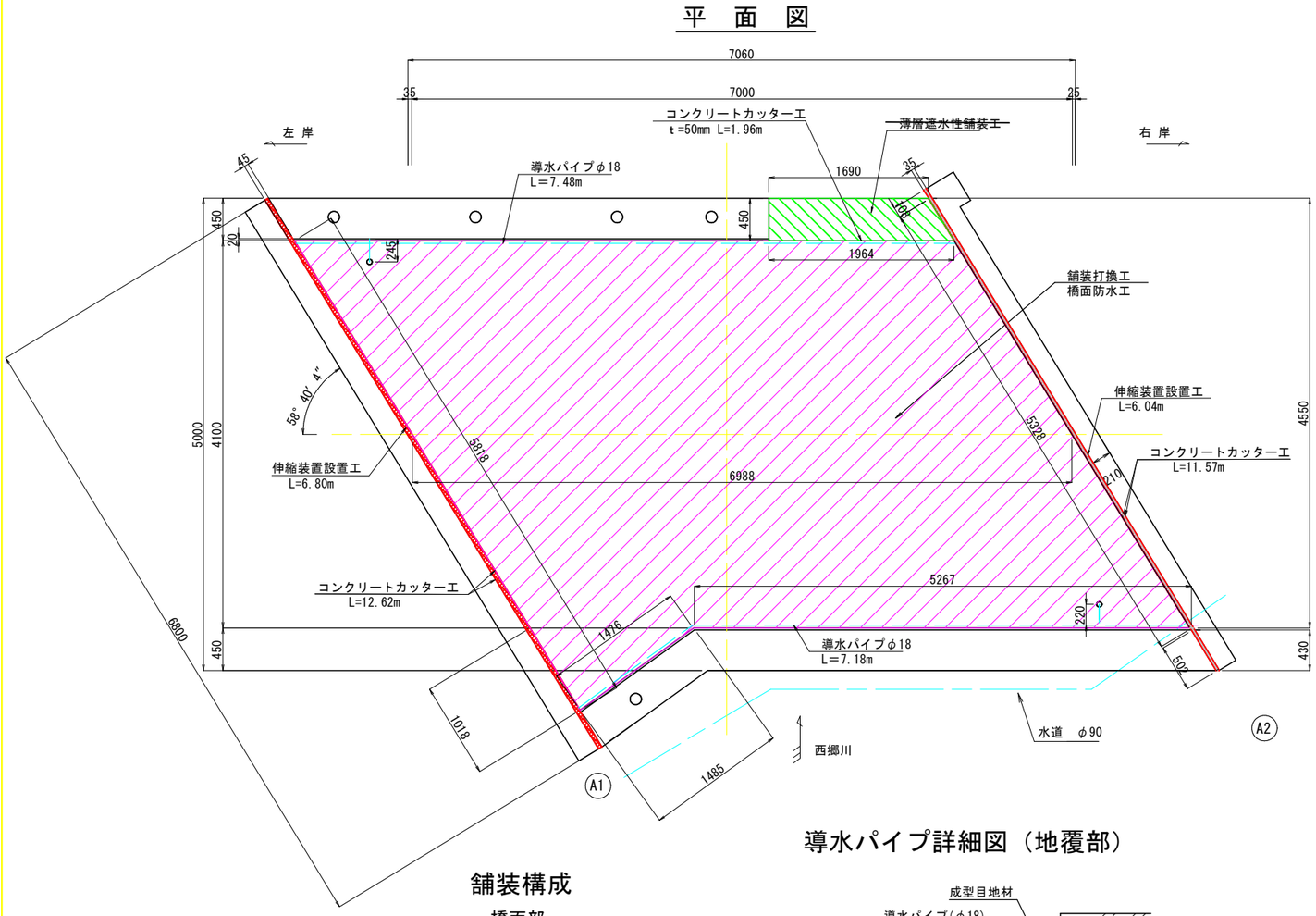


工事名	令和５年度 大崎上島町橋梁補修設計		
図面名	大正橋　補修一般図		
作成年月日			
縮尺	S=1/30	図面番号	1/5
会社名	株式会社荒谷建設コンサルタント		
事業者名	大崎上島町		

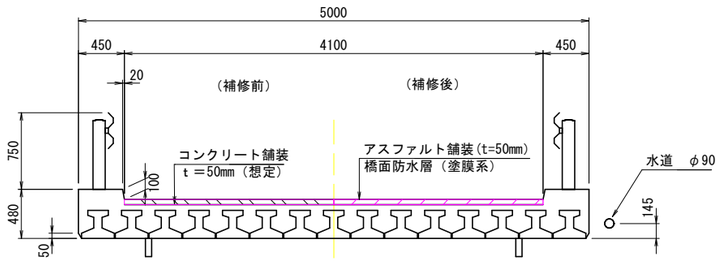
大正橋 補修図（その１） S=1/30

（舗装打換工、橋面防水工、薄層遮水性舗装工、伸縮装置設置工）

平　面　図

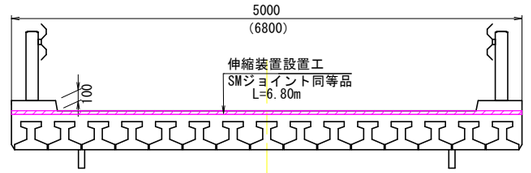


断　面　図



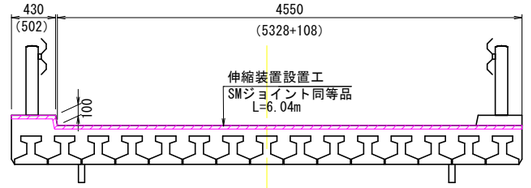
伸縮装置設置断面図

（A1）



（　）内は斜長を示す。

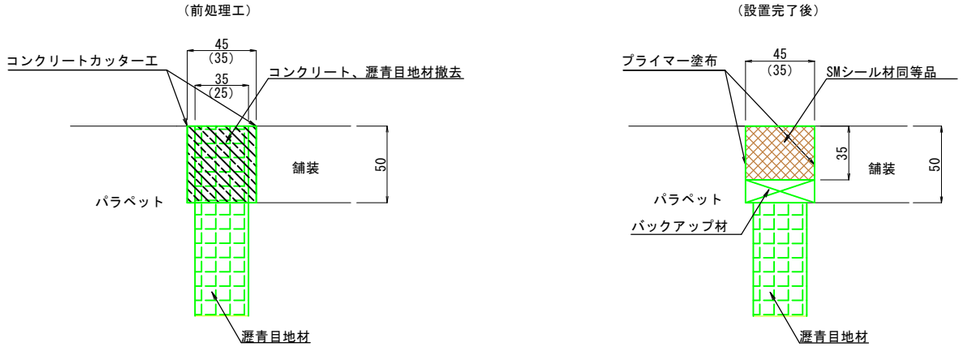
（A2）



（　）内は斜長を示す。

伸縮装置設置工 S=1/2

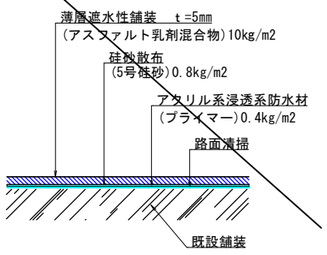
SMジョイント同等品



※　寸法はA1の寸法を示す。（　）はA2の寸法を表す。

薄層遮水性舗装詳細図

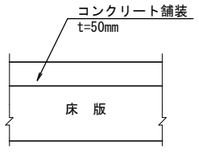
（スーパーロメンパッチDN工法同等品）



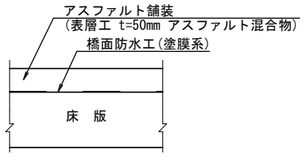
舗装構成

橋面部

現況

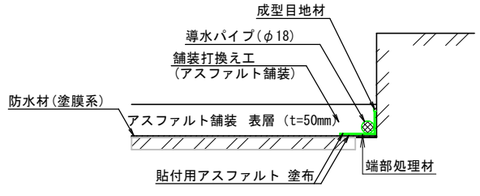


舗装打換え工後



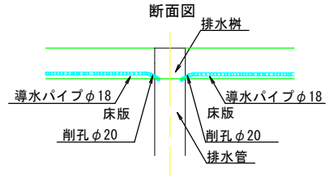
※現場状況に合わせて施工のこと。

導水パイプ詳細図（地覆部）



導水パイプ流末処理詳細図

排水桝と導水パイプの接続



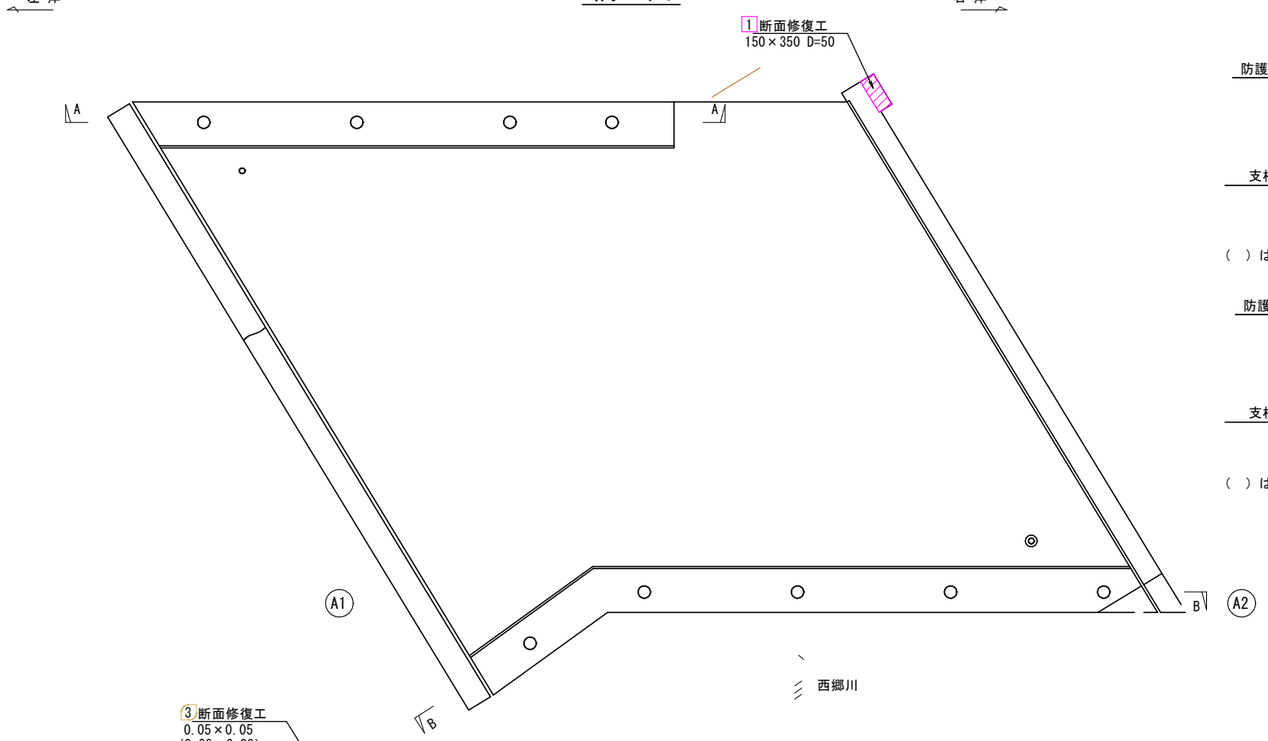
注：排水管に導水パイプを接合し排水が流れるようにする。
排水桝の形状については現地で確認すること。

工事名	令和５年度 大崎上島町橋梁補修設計		
図面名	大正橋　補修図（その１）		
作成年月日			
縮尺	S=1/30	図面番号	2/5
会社名	株式会社荒谷建設コンサルタント		
事業者名	大崎上島町		

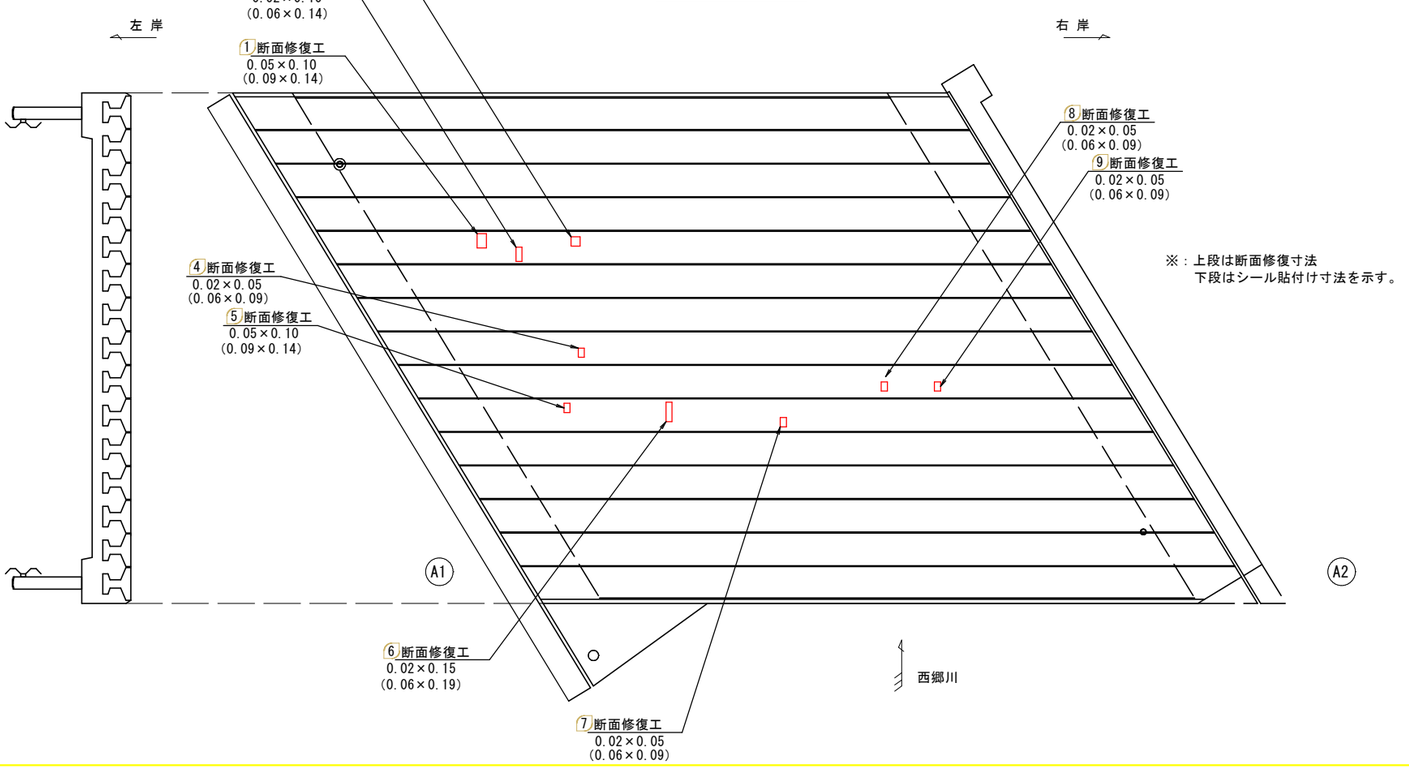
大正橋　補修図（その２）　S=1/30

断面修復工（高耐候性シール材設置工）、防護柵塗替塗装工

橋　面



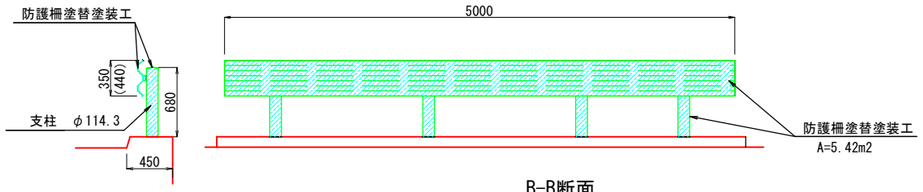
桁　下　面



※：上段は断面修復寸法
　　下段はシール貼付け寸法を示す。

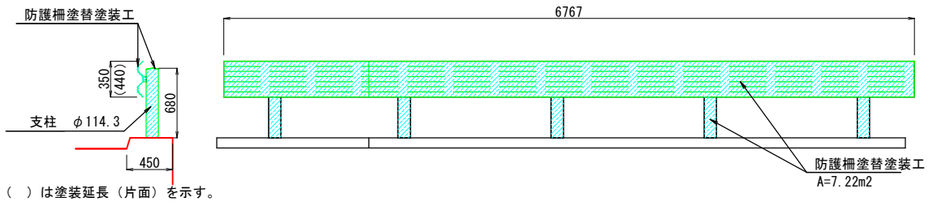
防護柵塗替塗装工

A-A断面



( ) は塗装延長（片面）を示す。

B-B断面



( ) は塗装延長（片面）を示す。

塗替塗装工仕様（防護柵）

付属物塗替工（塩ゴム系）

塗装工程	塗　料　名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	3種ケレンA		4時間以内
中　塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	
上　塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	150	1日～10日

※：国土交通省標準積算基準書　Ⅳ-3-⑧　道路付属物付属物塗替工の記載内容に準拠した。塗装間隔はメーカーカタログを参考とし、一般的環境での塗装間隔を示した。施工に当たっては使用する材料の説明書にしたがうこと。

塗替塗装工　フロー図

素地調整
↓
中塗り
↓
上塗り
↓
完了

橋面
【断面修復工（左官工法：ケレン・防錆処理含まず）】

番号	寸法(m) 幅 x 長さ x 深さ	箇所	面積 (m2)	体積 (m3)	備　考
1	0.15 x 0.35 x 0.050	1	0.053	0.003	
合　計			0.053	0.003	

主桁下面
【断面修復工＋高耐候性シール材設置工：防錆処理含む）】

番号	断面修復寸法(m) 幅 x 長さ x 深さ	箇所	面積 (m2)	体積 (m3)	高耐候性シール材設置寸法(m) 幅 x 長さ	面積 (m2)
1	0.05 x 0.10 x 0.01	1	0.005	0.00005	0.09 x 0.14	0.013
2	0.02 x 0.10 x 0.01	1	0.002	0.00002	0.06 x 0.14	0.008
3	0.05 x 0.05 x 0.01	1	0.003	0.00003	0.09 x 0.09	0.008
4	0.02 x 0.05 x 0.01	1	0.001	0.00001	0.06 x 0.09	0.005
5	0.02 x 0.05 x 0.01	1	0.001	0.00001	0.06 x 0.09	0.005
6	0.02 x 0.15 x 0.01	1	0.003	0.00003	0.06 x 0.19	0.011
7	0.02 x 0.05 x 0.01	1	0.001	0.00001	0.06 x 0.09	0.005
8	0.02 x 0.05 x 0.01	1	0.005	0.00005	0.06 x 0.09	0.005
9	0.02 x 0.05 x 0.01	1	0.005	0.00005	0.06 x 0.09	0.005
合　計			0.018	0.001		0.07

凡例

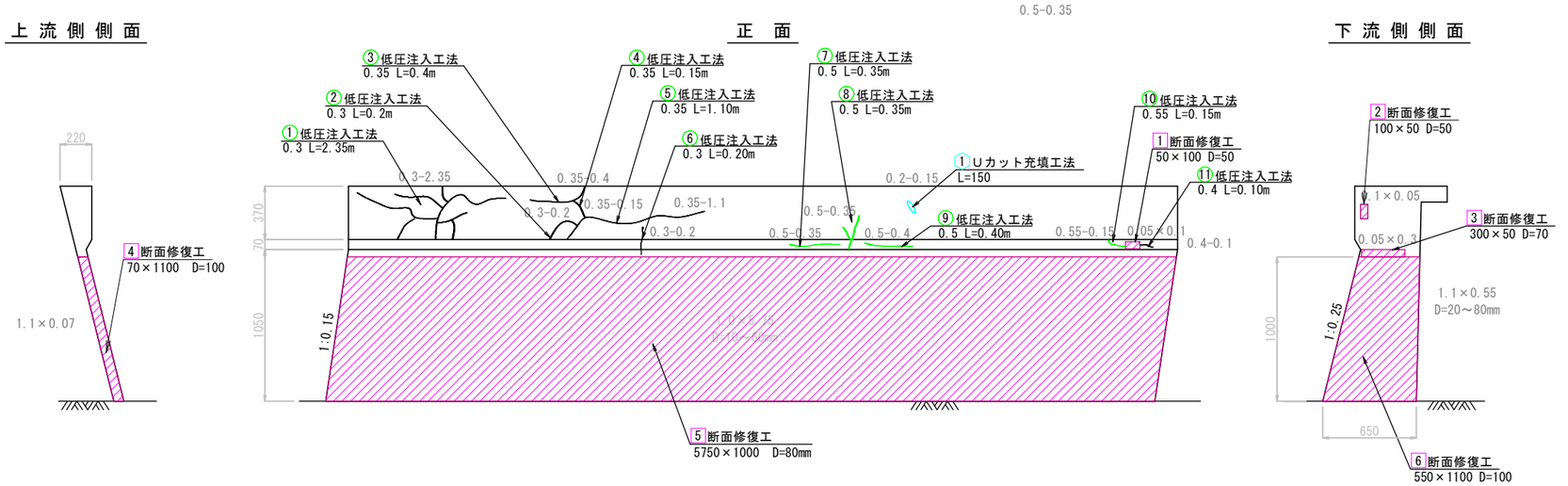
番号	補 修 内 容
1	断面修復工（左官工法）
2	断面修復工＋高耐候性シール材設置工

工事名	令和５年度 大崎上島町橋梁補修設計		
図面名	大正橋　補修図（その２）		
作成年月日			
縮尺	S=1/30	図面番号	3/5
会社名	株式会社荒谷建設コンサルタント		
事業者名	大崎上島町		

大正橋　補修図(その３)　S=1/30

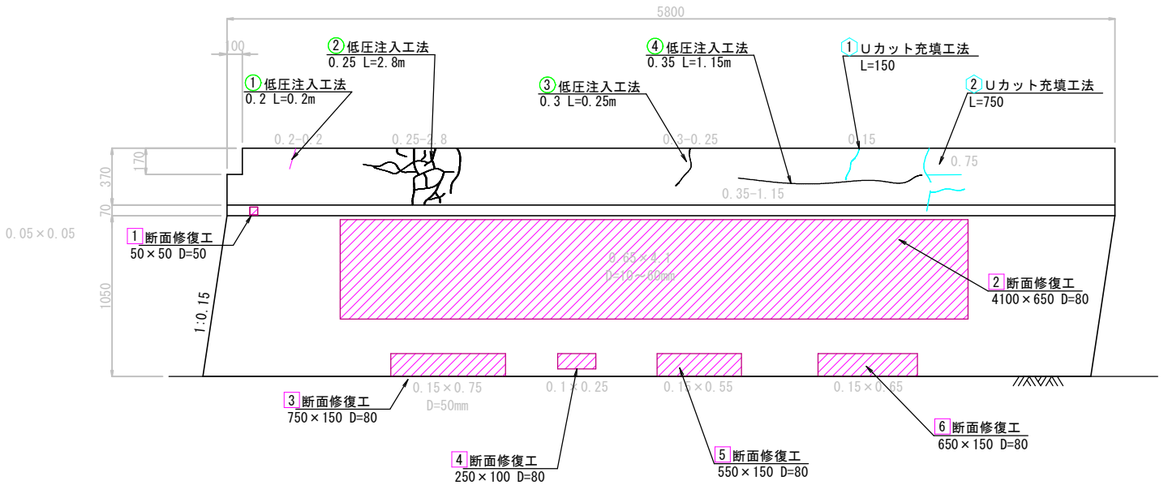
ひび割れ補修工、断面修復工

A1　橋　台　S=1/20



A2　橋　台　S=1/20

正　面



凡例

番号	補 修 内 容
○	ひび割れ補修工（低圧注入工法）
⬡	ひび割れ補修工（Uカット充填工法）
□	断面修復工（左官工法）

下部工(A1橋台)
【ひび割れ注入工法】

番号	幅 (mm)	長さ (m)	箇所	小計 (m)	備　考
①	0.30	2.35	1	2.35	
②	0.30	0.20	1	0.20	
③	0.35	0.40	1	0.40	
④	0.35	0.15	1	0.15	
⑤	0.35	1.10	1	1.10	
⑥	0.30	0.20	1	0.20	
⑦	0.50	0.35	1	0.35	
⑧	0.50	0.35	1	0.35	
⑨	0.50	0.40	1	0.40	
⑩	0.55	0.15	1	0.15	
⑪	0.40	0.10	1	0.10	
合　計				5.75	

下部工(A1橋台)
【ひび割れ充填工法】

番号	幅 (mm)	長さ (m)	箇所	小計 (m)	備　考
①	—	0.15	1	0.15	
合　計				0.15	

下部工(A1橋台)
【断面修復工（左官工法：ケレン・防錆処理含む）】

番号	寸法(m) 幅 x 長さ x 深さ	箇所	面積 (m2)	体積 (m3)	備　考
1	0.05 x 0.10 x 0.050	1	0.050	0.0025	
2	0.10 x 0.05 x 0.050	1	0.050	0.0025	
3	0.30 x 0.05 x 0.100	1	0.150	0.0150	
合　計			0.250	0.020	

【断面修復工（左官工法：ケレン・防錆処理含まず）】

番号	寸法(m) 幅 x 長さ x 深さ	箇所	面積 (m2)	体積 (m3)	備　考
4	0.07 x 1.10 x 0.100	1	0.077	0.0077	
5	5.75 x 1.00 x 0.080	1	5.750	0.4600	
6	0.55 x 1.10 x 0.100	1	0.605	0.0605	
合　計			6.432	0.528	

下部工(A2橋台)
【補修方法：ひび割れ注入工法】

番号	幅 (mm)	長さ (m)	箇所	小計 (m)	備　考
①	0.20	0.20	1	0.20	
②	0.25	2.80	1	2.80	
③	0.30	0.25	1	0.25	
④	0.35	1.15	1	1.15	
合　計				4.40	

下部工(A2橋台)
【補修方法：ひび割れ充填工法】

番号	幅 (mm)	長さ (m)	箇所	小計 (m)	備　考
①	—	0.15	1	0.15	
②	—	0.75	1	0.75	
合　計				0.90	

下部工(A2橋台)
【断面修復工（左官工法：ケレン・防錆処理含む）】

番号	寸法(m) 幅 x 長さ x 深さ	箇所	面積 (m2)	体積 (m3)	備　考
1	0.05 x 0.05 x 0.050	1	0.003	0.0015	
合　計			0.003	0.002	

【断面修復工（左官工法：ケレン・防錆処理含まず）】

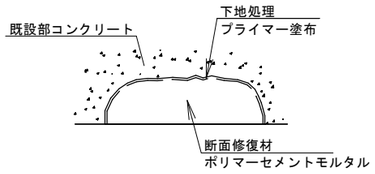
番号	寸法(m) 幅 x 長さ x 深さ	箇所	面積 (m2)	体積 (m3)	備　考
2	4.10 x 0.65 x 0.080	1	2.665	0.2132	
3	0.75 x 0.15 x 0.080	1	0.113	0.0090	
4	0.25 x 0.10 x 0.080	1	0.025	0.0020	
5	0.55 x 0.15 x 0.080	1	0.083	0.0066	
6	0.65 x 0.15 x 0.080	1	0.098	0.0078	
合　計			2.984	0.239	

工事名	令和５年度 大崎上島町橋梁補修設計		
図面名	大正橋　補修図(その３)		
作成年月日			
縮尺	S=1/20	図面番号	4/5
会社名	株式会社荒谷建設コンサルタント		
事業者名	大崎上島町		

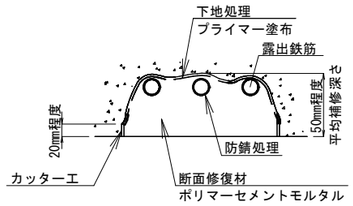
大正橋　施工要領図　S=non

断面修復工詳細図　S=NON

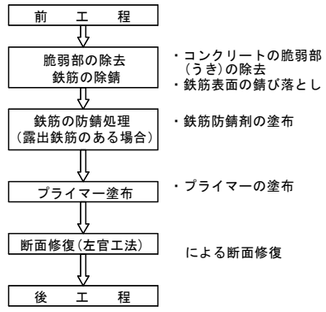
断 面 修 復 工
（ケレン・防錆処理含まず）



（ケレン・防錆処理含む）



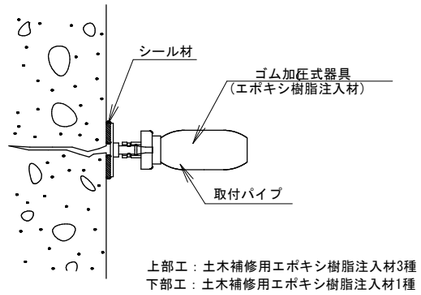
断面修復工 施工フロー



※　脆弱部の厚さを50㎜とする。
※　鉄筋までハツリ出しすること。
※　鉄筋腐食が確認された際は、鉄筋の裏側まではつり防錆処理を施すこと。

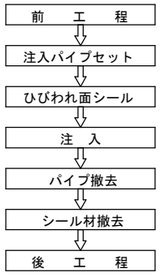
ひび割れ補修工詳細図　S=NON

低圧注入工法
（ひび割れ幅1㎜未満）



上部工：土木補修用エポキシ樹脂注入材3種
下部工：土木補修用エポキシ樹脂注入材1種

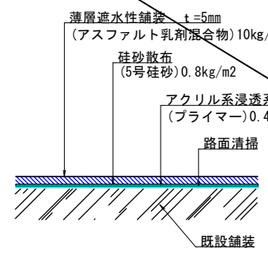
低圧注入工法 施工フロー



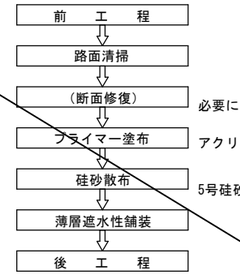
※　注入パイプは300㎜ピッチとする。
※　注入材は上部工と下部工で異なるため注意すること。

薄層遮水性舗装詳細図

（スーパーロメンパッチDN工法同等品）



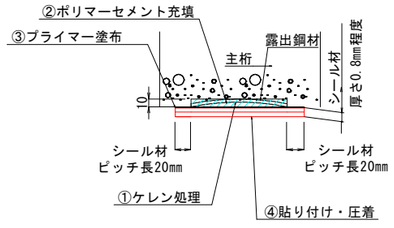
薄層遮水性舗装工 施工フロー



※　橋梁のコンクリート舗装に対して実施すること。
※　プライマーは施工温度によって配合調整を行うこと。
（施工要領書参照）
※　既設舗装面の著しい損傷は、事前に修復すること。

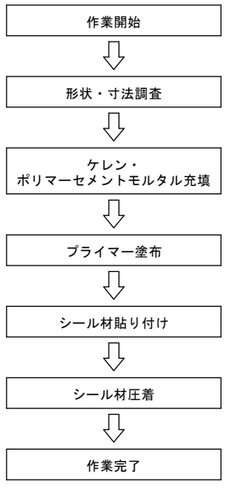
断面修復工(鋼材)要領図

（高耐候性タッチアップ用シール材）



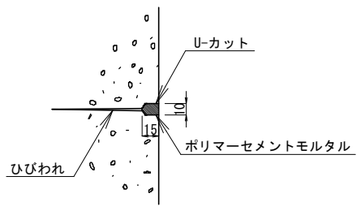
※　確実な圧着作業が可能である5℃以上で施工を行う。
※　接着能力が低下するため，下地は乾燥させる。
※　洗浄処理などの下地処理，錆が見られる場合にはケレン処理を行う。
※　貼り付けの際には，ピッチ長20㎜を確保すること。
※　表面の凹凸はポリマーセメントモルタルで平滑にすること。
※　貼り付け後ゴムローラーなどで全体をムラなく圧着する。

施工手順



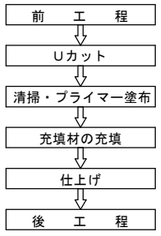
ひび割れ補修工　S=NON

Uカット充填工法



上部工：可とう性エポキシ樹脂
下部工：ポリマーセメントモルタル

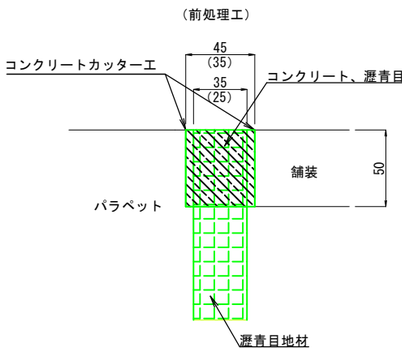
ひび割れ充填工法 施工フロー



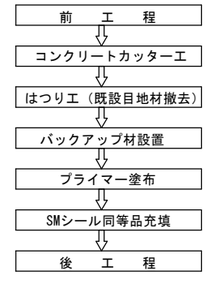
※　充填材は上部工と下部工で異なるため注意すること。
※　プライマーは充填材に適したものを必要に応じて使用すること。

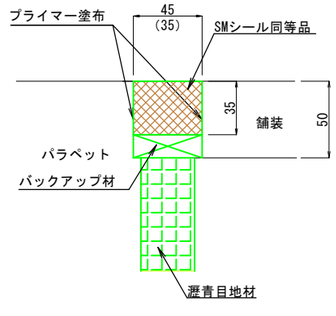
伸縮装置設置工詳細図

（SMジョイント同等品）



SMジョイント同等品 施工フロー





※　寸法はA1の寸法を示す。（　）はA2の寸法を表す。
※　伸縮装置設置面は汚れを除去し、フレッシュな面とすること。
※　プライマーは充填材に適したものを使用すること。
※　SMシール材（同等品）は35㎜以上の厚さを確保すること。

工事名	令和５年度 大崎上島町橋梁補修設計		
図面名	大正橋　施工要領図		
作成年月日			
縮尺	S=1/20	図面番号	5/5
会社名	株式会社荒谷建設コンサルタント		
事業者名	大崎上島町		